

令和 3 年度

一宮市公営企業会計決算審査意見書

一宮市公営企業会計資金不足比率審査意見書

(病 院 事 業)

一 宮 市 監 査 委 員

— 凡 例 —

- 1 消費税及び地方消費税は、本文中の予算執行状況及び審査資料中の予算決算対照表、決算両年度比較表においては税込みの額、その他においては税抜きの額で表示した。
- 2 比率は、小数点第2位で四捨五入してあるので、端数処理の関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 文中及び各表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」…… 算出により零となるもの、又は該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「－」…… 算出不能なもの、又は該当数値がないもの
 - 「△」…… 負数
 - 「皆増」…… 前年度に数値がなく、全額増加したもの
 - 「皆減」…… 当年度に数値がなく、全額減少したもの

目 次

ページ

令和３年度一宮市病院事業会計決算審査意見

第１	審査の対象	-----	1
第２	審査の方法等	-----	1
第３	審査の結果	-----	3
概	要	-----	3
1	業務状況	-----	3
2	予算執行状況	-----	10
3	経営状況	-----	15
4	財政状態	-----	25
む	す	び	----- 35

令和３年度一宮市病院事業会計決算に基づく資金不足比率審査意見

第１	審査の対象	-----	37
第２	審査の方法等	-----	37
第３	審査の結果	-----	37

病院事業会計決算審査資料

予算決算対照表	-----	40
決算両年度比較表	-----	42
比較損益計算書	-----	44
収益的支出科目別及び経費別両年度比較表	-----	50
比較貸借対照表	-----	56
比較財務分析表	-----	62

一宮市病院事業会計決算審査意見

令和4年8月23日

一宮市長 中野正康様

一宮市監査委員 和家 淳

一宮市監査委員 丹羽 達

一宮市監査委員 鵜飼 和司

一宮市監査委員 渡部 晃久

令和3年度一宮市公営企業会計（病院事業会計）
決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和3年度一宮市病院事業会計
決算及び決算附属書類について審査した結果、次のとおりその意見を提出します。

令和３年度一宮市病院事業会計決算審査意見

地方公営企業法第 30 条第 2 項による決算審査を一宮市監査委員監査基準に準拠して実施した。その概要及び結果は次のとおりである。

第 1 審査の対象

令和 3 年度一宮市病院事業会計決算

第 2 審査の方法等

1 主な着眼点

一会計年度における事務事業の決算に対し、計数の正確性を検証するとともに、予算の執行又は事業の経営が、適正かつ効率的に行われているかどうかの主眼を置いて審査した。

(1) 形式審査

- ア 決算書類は関係法令に定める様式に準じて作成されているか。
- イ 決算計数は総勘定元帳、関係補助簿等の計数と一致しているか。
- ウ 決算書類相互の関連計数は一致しているか。

(2) 実質審査

ア 共通的事項

- ・ 会計処理が適正に行われているか。
- ・ 正規の簿記の原則に従って正確な会計帳簿が作成されているか。
- ・ 会計処理の基準及び手続について継続して用い、みだりに変更していないか。
- ・ 財政状態及び経営成績に関する会計真実を決算書その他の会計に関する書類に適正かつ明瞭に表示しているか。
- ・ 財政に不利な影響を及ぼすおそれがある事態に備えて健全な会計処理が行われているか。
- ・ 一般会計等との負担区分は適切か。

イ 業務状況

- ・ 業務実績の前年度との比較分析

ウ 予算執行状況

- ・ 収益的収支及び資本的収支の予算執行状況が適正かつ効率的か。
- ・ 収入は適正に確保されているか。
- ・ 予算の繰越しは適正に行われているか。
- ・ 資本的収入が資本的支出に対して不足する額の補てん財源は妥当か。また、その表示は明瞭か。

- ・消費税及び地方消費税分は備考欄に内書きされているか。

エ 経営状況

- ・損益計算書は経営成績を適正に表示しているか。
- ・収益及び費用の前年度比較による増減事由の検証
- ・単位当たりの収支、各種の比率による事業の経済性の分析評価

オ 財政状態

- ・貸借対照表は年度末の財政状態を適正に表示しているか。
- ・貸借対照表の各勘定科目の前年度比較による増減事由の検証
- ・各種の比率による財政状態の分析
- ・キャッシュ・フロー計算書による活動区分ごとの資金の増減要因の分析

2 主な実施内容

審査に付された決算及び決算附属書類を基に、次の手続を実施した。

(1) 書類の審査

審査に付された決算及び決算附属書類と、総勘定元帳、関係補助簿、関連保管文書等との照合等を行った。

(2) 経営分析

年度間比較、財政指標の算出により当年度の経営状況を確認した。

(3) 説明の聴取

事業管理者、部長、次長及び担当課長等関係職員から説明を聴取した。

3 実施場所及び主な日程

監査事務局による 書類調査	監査事務局	令和4年6月8日～ 同年7月12日
監査委員による本審査	市民病院及び木曽川市民病院会議室	同年7月19日、同月20日

第3 審査の結果

以上のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつその計数は正確であり、本年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査結果の概要及び意見は次のとおりである。

概 要

1 業務状況

本年度の一宮市病院事業会計の業務量及び前年度との増減状況は次のとおりである。

区 分	診 療 科 数	患 者 別		病 床 数	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前年度
					年 間 延 数	一日平均	年 間 延 数	一日平均	対 比
市民病院	24	入 院	一 般	570	157,506	432	153,740	421	102.4
			結核・ 感染症	24	4,658	13	5,289	14	88.1
			計	594	162,164	444	159,029	436	102.0
		外 来	時間内		286,328	1,183	274,408	1,129	104.3
			時間外		17,233	47	14,796	41	116.5
			計		303,561		289,204		105.0
木 曽 川 市民病院	5	入 院	一 般	82	22,889	63	23,224	64	98.6
			療 養	48	16,429	45	16,491	45	99.6
			計	130	39,318	108	39,715	109	99.0
		外 来	時間内		34,422	142	32,315	133	106.5
			時間外		87	0	77	0	113.0
			計		34,509		32,392		106.5
計		入 院	724	201,482	552	198,744	545	101.4	
		外 来		338,070		321,596		105.1	
入 院 ・ 外 来 患 者 数 合 計					539,552		520,340		103.7

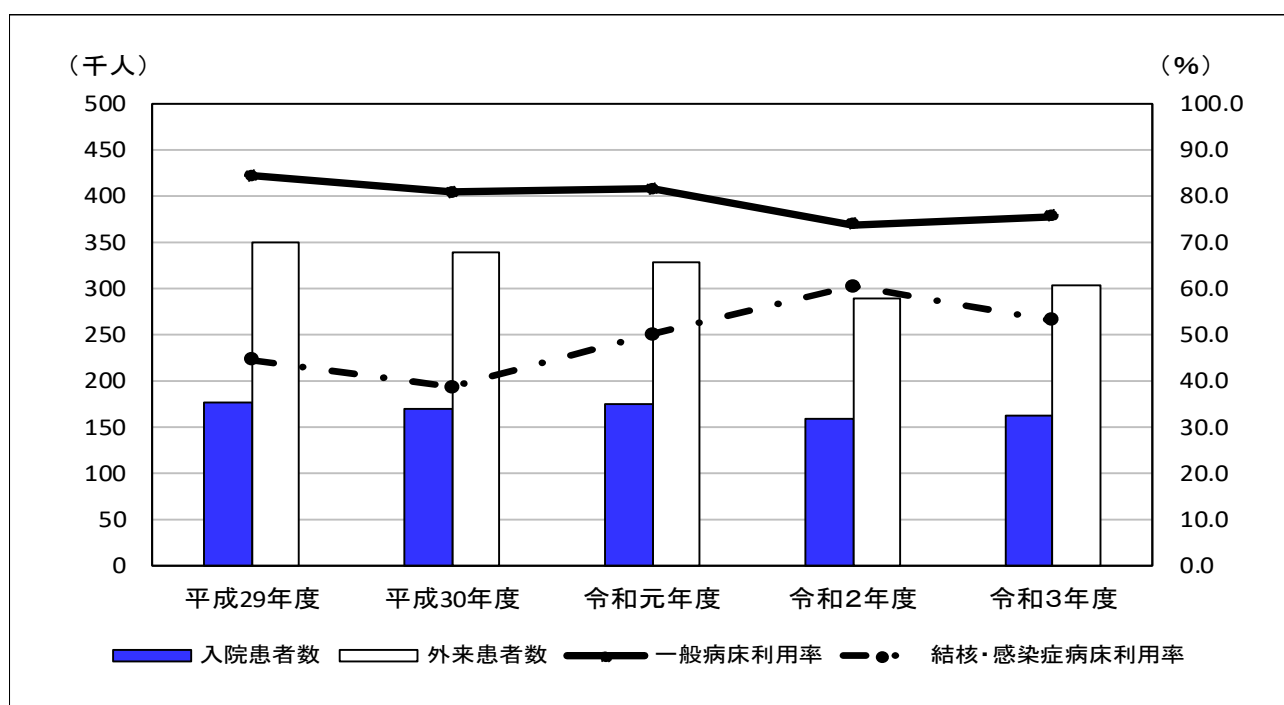
- (注) 1 病床数は稼働病床数である。
2 入院及び外来時間外取扱診療日数は、365日である。(前年度365日)
3 外来時間内診療日数は、242日である。(前年度243日)
4 患者数の一日平均については、四捨五入により計と一致しない場合がある。

表でみられるように、本年度の総利用患者数は、延 53 万 9,552 人で前年度に比べ 1 万 9,212 人（3.7%）増加している。そのうち入院患者数は、延 20 万 1,482 人で前年度に比べ 2,738 人（1.4%）増加し、外来患者数は、延 33 万 8,070 人で前年度に比べ 1 万 6,474 人（5.1%）増加している。

最近 5 か年の各病院の患者数及び稼働病床利用率の推移は、次のとおりである。

○市民病院

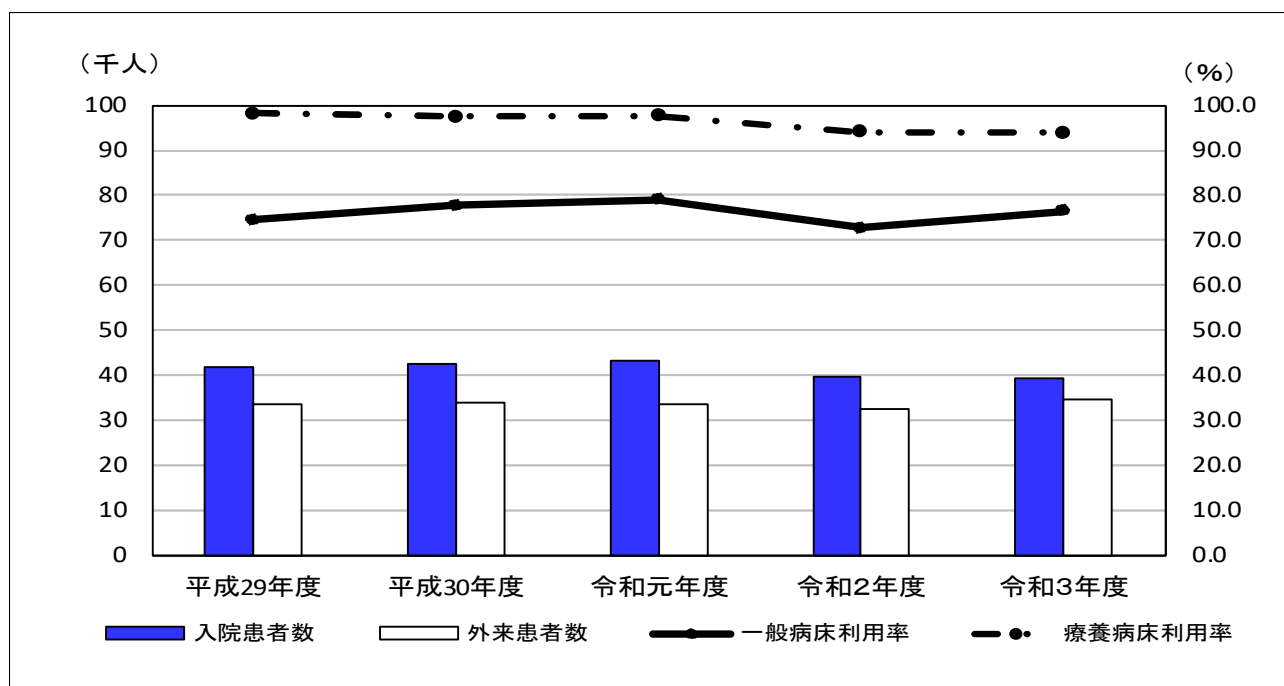
区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
患 者 数	入 院	人 176,430	人 169,347	人 174,559	人 159,029	人 162,164
	外 来	349,683	340,188	329,437	289,204	303,561
稼 働 病 床 利 用 率	一 般	% 84.4	% 80.8	% 81.6	% 73.9	% 75.7
	結核・ 感染症	44.6	38.8	50.2	60.4	53.2



市民病院の稼働病床利用率（ $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数（稼働病床数）}} \times 100$ ）は、一般病床では、75.7%で前年度に比べ 1.8 ポイント上昇しており、結核・感染症病床では、53.2%で前年度に比べ 7.2 ポイント下降している。

○木曽川市民病院

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
患 者 数	入 院	人 41,701	人 42,577	人 43,159	人 39,715	人 39,318
	外 来	33,595	34,065	33,468	32,392	34,509
稼 働 病 床 利 用 率	一 般	% 74.6	% 77.7	% 79.0	% 72.8	% 76.5
	療 養	98.2	97.4	97.6	94.1	93.8



木曽川市民病院の稼働病床利用率は、一般病床では、76.5%で前年度に比べ 3.7 ポイント上昇しており、療養病床では、93.8%で前年度に比べ 0.3 ポイント下降している。

また、診療科別患者数を前年度と比較すれば、次のとおりである。

診 療 科		令 和 3 年 度			令 和 2 年 度			増 ・ △ 減		
		入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計
市	腎 臓 内 科	人 6,478	人 9,479	人 15,957	人 7,091	人 8,358	人 15,449	人 △613	人 1,121	人 508
	血 液 内 科	11,364	11,714	23,078	11,039	11,179	22,218	325	535	860
	糖 尿 病 ・ 内 分 泌 内 科	2,854	11,380	14,234	2,705	10,621	13,326	149	759	908
	一 般 内 科	—	1,404	1,404	—	1,267	1,267	—	137	137
	総 合 内 科	438	313	751	—	—	—	438	313	751
	循 環 器 内 科	22,350	20,096	42,446	19,043	18,813	37,856	3,307	1,283	4,590
	呼 吸 器 内 科	22,692	16,825	39,517	24,103	15,848	39,951	△1,411	977	△434
	消 化 器 内 科	12,804	14,539	27,343	12,421	18,443	30,864	383	△3,904	△3,521
	脳 神 経 内 科	8,799	11,582	20,381	10,188	11,380	21,568	△1,389	202	△1,187
	小 児 科	12,057	24,668	36,725	11,792	22,663	34,455	265	2,005	2,270
民 病 院	外 科	12,411	15,491	27,902	11,963	14,651	26,614	448	840	1,288
	呼 吸 器 外 科	136	409	545	166	414	580	△30	△5	△35
	心臓血管外科	3,250	2,129	5,379	3,465	2,540	6,005	△215	△411	△626
	血 管 外 科	4,327	2,670	6,997	4,725	2,461	7,186	△398	209	△189
	整 形 外 科	11,882	22,307	34,189	9,527	20,098	29,625	2,355	2,209	4,564
	脳 神 経 外 科	6,976	6,621	13,597	5,651	6,392	12,043	1,325	229	1,554
	皮 膚 科	4,136	32,845	36,981	5,374	32,576	37,950	△1,238	269	△969
	泌 尿 器 科	4,634	11,777	16,411	3,478	10,780	14,258	1,156	997	2,153
	産 婦 人 科	8,081	16,787	24,868	9,307	16,193	25,500	△1,226	594	△632
	眼 科	682	12,228	12,910	649	11,593	12,242	33	635	668
	耳鼻いんこう科	2,905	16,577	19,482	3,417	16,471	19,888	△512	106	△406
	放射線治療科	25	10,489	10,514	32	8,544	8,576	△7	1,945	1,938
	救 急 科	10	1,980	1,990	—	1,789	1,789	10	191	201
	歯科口腔外科	1,534	12,018	13,552	1,624	11,334	12,958	△90	684	594
	緩 和 ケ ア	1,339	—	1,339	1,269	—	1,269	70	—	70
	時間外取扱患者	—	17,233	17,233	—	14,796	14,796	—	2,437	2,437
	計	162,164	303,561	465,725	159,029	289,204	448,233	3,135	14,357	17,492

診 療 科		令 和 3 年 度			令 和 2 年 度			増 ・ △ 減		
		入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計
木 曽 川 市 民 病 院	内 科	人 16,607	人 20,004	人 36,611	人 15,701	人 20,182	人 35,883	人 906	人 △178	人 728
	外 科	0	484	484	0	555	555	0	△71	△71
	整 形 外 科	6,132	9,546	15,678	6,978	7,333	14,311	△846	2,213	1,367
	眼 科	0	3,355	3,355	0	3,229	3,229	0	126	126
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	150	1,033	1,183	545	1,016	1,561	△395	17	△378
	回復期リハビリ テ ー シ ョ ン	16,429	—	16,429	16,491	—	16,491	△62	—	△62
	時間外取扱患者	—	87	87	—	77	77	—	10	10
計		39,318	34,509	73,827	39,715	32,392	72,107	△397	2,117	1,720

市民病院の患者数は、入院、外来ともに前年度に比べ増加し、回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症流行前の実績には届かなかった。

診療科別に見てみると、入院患者数は、主に循環器内科、整形外科、脳神経外科などで増加した。外来患者数は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ一定期間、内視鏡検査を制限した消化器内科などで減少したものの、ほとんどの診療科で増加した。また、診療時間外取扱患者数も増加した。

木曽川市民病院の入院患者数は前年度に比べ減少し、外来患者数は増加した。

入院患者数は、内科で増加したものの、一般病床のコロナ専用病床への転用に伴い入院調整を行ったことなどにより整形外科及びリハビリテーション科で減少した。外来患者数は、診療体制を令和2年10月に1診体制から2診体制に変更した影響が平年度化したことなどにより整形外科で増加した。

年度末の職員数を前年度と比較してみると、次のとおりである。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減
病 院 事 業 管 理 者		人 1	人 1	人 0
医 師		158	154	4
内 訳	市 民 病 院	147	143	4
	木 曽 川 市 民 病 院	11	11	0
看 護 師		690	695	△ 5
内 訳	市 民 病 院	622	623	△ 1
	木 曽 川 市 民 病 院	68	72	△ 4
医 療 技 術 員		237	234	3
内 訳	市 民 病 院	187	184	3
	木 曽 川 市 民 病 院	50	50	0
事 務 員		62	62	0
内 訳	市 民 病 院	52	51	1
	木 曽 川 市 民 病 院	10	11	△ 1
技 術 員（市民病院）		2	2	0
労 務 員（市民病院）		5	5	0
再 任 用 ・ 会 計 年 度 任 用 職 員		414	402	12
内 訳	市 民 病 院	344	335	9
	木 曽 川 市 民 病 院	70	67	3
計		1, 569	1, 555	14
内 訳	市 民 病 院	1, 360	1, 344	16
	木 曽 川 市 民 病 院	209	211	△ 2

（注） 1 職員数は各年度の3月31日付け退職者数を含めている。

2 病院事業管理者は、計の内訳のうち市民病院に含めている。

前表中、各病院の医師数を診療科別にみると、次のとおりである。

○市民病院

診 療 科	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増・△減	診 療 科	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増・△減
腎 臓 内 科	人 5	人 4	人 1	泌 尿 器 科	人 3	人 4	人 △ 1
血 液 内 科	7	6	1	産 婦 人 科	7	9	△ 2
糖尿病・内分泌内科	6	6	0	眼 科	2	2	0
総 合 内 科	1	—	1	耳 鼻 い ん こ う 科	6	5	1
循 環 器 内 科	13	11	2	放 射 線 治 療 科	2	2	0
呼 吸 器 内 科	6	8	△ 2	救 急 科	3	2	1
消 化 器 内 科	9	10	△ 1	歯 科 口 腔 外 科	5	4	1
脳 神 経 内 科	6	6	0	緩 和 ケ ア	1	1	0
小 児 科	14	15	△ 1	放 射 線 診 断 科	4	4	0
外 科	14	14	0	病 理 診 断 科	1	1	0
心 臓 血 管 外 科	5	5	0	麻 酔 科	5	3	2
血 管 外 科	3	3	0	精 神 科	1	1	0
整 形 外 科	6	6	0	がん診療センター	1	1	0
脳 神 経 外 科	4	3	1				
皮 膚 科	7	7	0	合 計	147	143	4

○木曽川市民病院

診 療 科	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増・△減
内 科	人 6	人 6	人 0
整 形 外 科	2	2	0
眼 科	1	1	0
リハビリテーション科	2	2	0
合 計	11	11	0

2 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

<収 入>

収益的収入は、予算現額 262 億 3,715 万 9,000 円に対し、決算額 271 億 8,817 万 1,180 円、執行率 103.6%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に 比べ決算額 の増・△減	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮受消費税及 び地方消費税
医 業 収 益		円 23,231,255,000	円 23,002,152,712	円 △229,102,288	% 99.0	円 59,622,417
内 訳	市 民 病 院	21,206,274,000	20,983,320,014	△222,953,986	98.9	52,553,520
	木 曽 川 市 民 病 院	2,024,981,000	2,018,832,698	△6,148,302	99.7	7,068,897
医 業 外 収 益		2,995,605,000	4,172,469,552	1,176,864,552	139.3	7,104,566
内 訳	市 民 病 院	2,667,332,000	3,691,892,144	1,024,560,144	138.4	6,886,849
	木 曽 川 市 民 病 院	328,273,000	480,577,408	152,304,408	146.4	217,717
特 別 利 益		10,299,000	13,548,916	3,249,916	131.6	8,211
内 訳	市 民 病 院	10,199,000	13,516,427	3,317,427	132.5	8,211
	木 曽 川 市 民 病 院	100,000	32,489	△67,511	32.5	0
合 計		26,237,159,000	27,188,171,180	951,012,180	103.6	66,735,194
内 訳	市 民 病 院	23,883,805,000	24,688,728,585	804,923,585	103.4	59,448,580
	木 曽 川 市 民 病 院	2,353,354,000	2,499,442,595	146,088,595	106.2	7,286,614

決算額の主なものは、医業収益では、入院収益 147 億 1,608 万 6,555 円、外来収益 76 億 2,147 万 912 円、医業外収益では、補助金 23 億 7,427 万 2,776 円、負担金・交付金 13 億 4,564 万 1,939 円である。

<支 出>

収益的支出は、予算現額 266 億 7,719 万 1,000 円に対し、決算額 258 億 6,731 万 3,979 円、執行率 97.0%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	不 用 額	執行率 (B) (A)	決算額のうち 仮払消費税及 び地方消費税
医 業 費 用		円 25,432,850,931	円 24,691,004,804	円 741,846,127	% 97.1	円 330,033,350
内 訳	市 民 病 院	23,001,854,000	22,334,783,927	667,070,073	97.1	278,022,243
	木 曽 川 市 民 病 院	2,430,996,931	2,356,220,877	74,776,054	96.9	52,011,107
医 業 外 費 用		1,241,641,000	1,173,813,528	67,827,472	94.5	6,107,583
内 訳	市 民 病 院	1,199,943,000	1,136,570,727	63,372,273	94.7	6,094,211
	木 曽 川 市 民 病 院	41,698,000	37,242,801	4,455,199	89.3	13,372
特 別 損 失		2,499,069	2,495,647	3,422	99.9	116,595
内 訳	市 民 病 院	1,300,000	1,296,578	3,422	99.7	109,989
	木 曽 川 市 民 病 院	1,199,069	1,199,069	0	100.0	6,606
予 備 費		200,000	0	200,000	0.0	0
内 訳	市 民 病 院	100,000	0	100,000	0.0	0
	木 曽 川 市 民 病 院	100,000	0	100,000	0.0	0
合 計		26,677,191,000	25,867,313,979	809,877,021	97.0	336,257,528
内 訳	市 民 病 院	24,203,197,000	23,472,651,232	730,545,768	97.0	284,226,443
	木 曽 川 市 民 病 院	2,473,994,000	2,394,662,747	79,331,253	96.8	52,031,085

決算額の主なものは、医業費用では、給与費 119 億 1,936 万 8,145 円、材料費 72 億 459 万 4,346 円、経費 36 億 6,078 万 2,781 円、医業外費用では、雑損失 6 億 9,453 万 9,775 円、支払利息 2 億 630 万 2,841 円である。

なお、給与費のうち退職給付費について、補正予算策定時に算定を誤ったため予算に不足が生じ、市民病院で 5,664 万円余、木曽川市民病院で 1,978 万円余の流用が行われていたので、慎重かつ適正な予算策定に努められたい。

(2) 資本的収入及び支出

<収 入>

資本的収入は、予算現額 2 億 9,856 万 6,000 円に対し、決算額 3 億 775 万 4,517 円、執行率 103.1%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に 比べ決算額 の増・△減	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮受消費税及 び地方消費税
		円	円	円	%	円
負 担 金		298,133,000	298,131,517	△1,483	100.0	0
内 訳	市 民 病 院	261,603,000	261,602,398	△602	100.0	0
	木 曽 川 市 民 病 院	36,530,000	36,529,119	△881	100.0	0
寄 附 金 (市 民 病 院)		100,000	0	△100,000	0.0	0
補 助 金		333,000	9,623,000	9,290,000	2,889.8	0
内 訳	市 民 病 院	333,000	6,642,000	6,309,000	1,994.6	0
	木 曽 川 市 民 病 院	0	2,981,000	2,981,000	—	0
合 計		298,566,000	307,754,517	9,188,517	103.1	0
内 訳	市 民 病 院	262,036,000	268,244,398	6,208,398	102.4	0
	木 曽 川 市 民 病 院	36,530,000	39,510,119	2,980,119	108.2	0

負担金は、全額、企業債元金償還金に対し一般会計から繰り入れたものである。補助金は、愛知県新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備費補助金、保健衛生施設等設備整備費国庫補助金である。

<支 出>

資本的支出は、予算現額 16 億 814 万 4,000 円に対し、決算額 14 億 8,417 万 5,478 円、執行率 92.3%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮払消費税及 び地方消費税
建 設 改 良 費		円 1,069,113,000	円 945,145,587	円 0	円 123,967,413	% 88.4	円 50,237,818
内 訳	市 民 病 院	1,009,609,000	886,048,025	0	123,560,975	87.8	47,757,944
	木 曽 川 市 民 病 院	59,504,000	59,097,562	0	406,438	99.3	2,479,874
企 業 債 償 還 金		539,031,000	539,029,891	0	1,109	100.0	0
内 訳	市 民 病 院	481,970,000	481,969,052	0	948	100.0	0
	木 曽 川 市 民 病 院	57,061,000	57,060,839	0	161	100.0	0
合 計		1,608,144,000	1,484,175,478	0	123,968,522	92.3	50,237,818
内 訳	市 民 病 院	1,491,579,000	1,368,017,077	0	123,561,923	91.7	47,757,944
	木 曽 川 市 民 病 院	116,565,000	116,158,401	0	406,599	99.7	2,479,874

建設改良費 9 億 4,514 万 5,587 円の内訳は、リース資産購入費 3 億 7,468 万 8,052 円（市民病院 3 億 4,318 万 4,104 円、木曽川市民病院 3,150 万 3,948 円）、資産購入費 3 億 3,131 万 335 円（市民病院 3 億 371 万 6,721 円、木曽川市民病院 2,759 万 3,614 円）、建設費 2 億 3,914 万 7,200 円（全額市民病院）である。

決算額の主なものは、次のとおりである。

ア 市民病院

建設費の主なものは、北館・南館（A・B 棟）改修事業（平成 30～令和 3 年度継続事業）に係る改修工事 1 億 1,987 万 680 円、衛生設備工事 3,613 万 4,000 円、空調設備工事 3,273 万 4,200 円、電気設備工事 1,930 万 3,520 円、工事監理業務委託 1,772 万円である。

資産購入費は、注射薬自動払出装置、ナビゲーションシステム、化学療法レジメンオーダーサポートシステムなどの購入費用である。

リース資産購入費は、病院情報システム、手術支援ロボット、電子カルテシステムサーバーなどのリース資産に係る当年度分のリース料の支払額（利息等相当額を除く）である。

イ 木曽川市民病院

資産購入費は、超音波診断装置、無線式セントラルモニタシステム、上部消化管汎用ビデオスコープなどの購入費用である。

リース資産購入費は、病院情報システム、全身用 X 線 CT 診断装置などのリース資産に係る当年度分のリース料の支払額（利息等相当額を除く）である。

資本的支出総額 14 億 8,417 万 5,478 円に対し、資本的収入総額 3 億 775 万 4,517 円で、11 億 7,642 万 961 円収支不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額

207 万 7,492 円、過年度分損益勘定留保資金 11 億 7,434 万 3,469 円により補てんされている。

なお、継続費通次繰越として前年度から繰り越された市民病院の北館・南館（A・B 棟）改修事業に係る工事監理業務委託料 331 万円、関連工事費 5,127 万 7,000 円は、全額執行された。

3 経営状況

本年度の経営成績は、医業収益 229 億 4,224 万 7,186 円、医業外収益 41 億 6,536 万 4,986 円に対し、医業費用 243 億 6,068 万 8,345 円、医業外費用 14 億 6,013 万 9,518 円となった。ただし、決算額は、市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去され、純計となっている。

この結果、医業損益では、14 億 1,844 万 1,159 円の医業損失（市民病院 11 億 2,599 万 5,190 円、木曽川市民病院 2 億 9,244 万 5,969 円）となり、前年度 24 億 7,974 万 341 円の医業損失から 10 億 6,129 万 9,182 円損失が減少した。

また、経常損益では、12 億 8,678 万 4,309 円の経常利益（市民病院 11 億 8,134 万 398 円、木曽川市民病院 1 億 544 万 3,911 円）となり、前年度 2 億 6,920 万 3,569 円の経常損失から 15 億 5,598 万 7,878 円損失が減少した。

最終損益では、経常損益に特別利益 1,354 万 705 円、特別損失 237 万 9,052 円を加減し、12 億 9,794 万 5,962 円の純利益（市民病院 11 億 9,366 万 2,025 円、木曽川市民病院 1 億 428 万 3,937 円）となり、前年度 2 億 6,502 万 2,696 円の純損失から 15 億 6,296 万 8,658 円損失が減少した。

最近 5 か年の経営成績は、次のとおりである。

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度
病院事業収益		千円 21,673,236	千円 22,255,690	千円 23,425,231	千円 24,942,324	千円 27,121,153
内 訳	市民病院	19,470,621	19,999,535	21,092,982	22,673,946	24,629,280
	木 曽 川 市 民 病 院	2,206,474	2,263,264	2,337,354	2,268,616	2,492,156
病院事業費用		21,931,439	22,985,604	25,374,230	25,207,347	25,823,207
内 訳	市民病院	19,724,554	20,681,695	22,922,195	22,781,485	23,435,618
	木 曽 川 市 民 病 院	2,210,744	2,311,018	2,457,140	2,426,099	2,387,872
純利益・△純損失		△258,203	△729,914	△1,948,998	△265,023	1,297,946
内 訳	市民病院	△253,933	△682,160	△1,829,213	△107,539	1,193,662
	木 曽 川 市 民 病 院	△4,270	△47,754	△119,785	△157,483	104,284

（注） 1 病院事業収益及び病院事業費用の決算額は、病院事業会計の内部取引が相殺消去され、純計となっているので、内訳の 2 病院の決算額の計と一致しない。

2 表示単位未満を四捨五入して端数処理を行っているので、計数が一致しない場合がある。

(1) 収 益

ア 市民病院

医業収益は、入院収益 133 億 1,269 万 1,003 円、外来収益 70 億 7,932 万 4,263 円を始め総額 209 億 3,076 万 6,494 円で、前年度に比べ 16 億 6,349 万 5,427 円（8.6%）増加している。

増加した主なものは、入院収益 6 億 9,296 万 3,831 円（5.5%）、外来収益 6 億 9,059 万 7,591 円（10.8%）である。入院収益が増加した要因は、診療単価が高い循環器内科等の患者数が増加したことなどであると考えられる。外来収益が増加した要因は、化学療法における高額な薬品の使用量の増加等により患者 1 人当たりの外来単価が上昇したことや患者数が増加したことなどであると考えられる。

医業外収益は、補助金 21 億 4,530 万 1,776 円、負担金・交付金 11 億 2,895 万 5,696 円を始め総額 36 億 8,500 万 5,295 円で、前年度に比べ 2 億 8,304 万 3,615 円（8.3%）増加している。

増加した主なものは、補助金 3 億 5,165 万 4,038 円（19.6%）である。補助金が増加した要因は、新型コロナウイルス感染症関連の国・県補助金が増加したことなどである。

特別利益は、1,350 万 8,216 円で前年度に比べ 879 万 5,129 円（186.6%）増加している。

イ 木曽川市民病院

医業収益は、入院収益 14 億 187 万 9,405 円、外来収益 5 億 4,013 万 1,633 円を始め総額 20 億 1,176 万 3,801 円で、前年度に比べ 3,220 万 9,957 円（1.6%）増加している。

増加したものは、入院収益 743 万 972 円（0.5%）、その他医業収益 2,686 万 5,382 円（62.6%）である。入院収益が増加した要因は、患者数が整形外科及びリハビリテーション科で減少したものの、内科で増加したことなどであると考えられる。その他医業収益が増加した要因は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種件数が増加したことなどによるものであると考えられる。減少したものは、外来収益 208 万 6,397 円（0.4%）である。外来収益が減少した要因は、患者数が整形外科で増加したものの、内科で処方している高額な薬品の使用量が減少したことにより患者 1 人当たりの外来単価が下がったことなどであると考えられる。

医業外収益は、補助金 2 億 2,897 万 1,000 円、負担金・交付金 2 億 1,668 万 6,243 円を始め総額 4 億 8,035 万 9,691 円で、前年度に比べ 1 億 9,148 万 665 円（66.3%）増加している。

増加した主なものは、補助金 1 億 9,763 万円（630.6%）である。補助金が増加した要因は、新型コロナウイルス感染症関連の国・県補助金が増加したことなどである。

特別利益は、3 万 2,849 円で前年度に比べ 15 万 648 円（82.3%）減少している。

病院事業収益について、項目別に前年度と比較すれば次のとおりである。

区 分			令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前年度 対 比
			決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	
医 業 収 益			円	%	円	%	%
	入 院 収 益		14,714,570,408	54.3	14,014,175,605	56.2	105.0
	内 訳	市 民 病 院	13,312,691,003	49.1	12,619,727,172	50.6	105.5
		木 曽 川 市 民 病 院	1,401,879,405	5.2	1,394,448,433	5.6	100.5
	外 来 収 益		7,619,290,246	28.1	6,930,814,442	27.8	109.9
	内 訳	市 民 病 院	7,079,324,263	26.1	6,388,726,672	25.6	110.8
		木 曽 川 市 民 病 院	540,131,633	2.0	542,218,030	2.2	99.6
	そ の 他 医 業 収 益		608,386,532	2.2	301,597,243	1.2	201.7
	内 訳	市 民 病 院	538,751,228	2.0	258,817,223	1.0	208.2
		木 曽 川 市 民 病 院	69,752,763	0.3	42,887,381	0.2	162.6
	計		22,942,247,186	84.6	21,246,587,290	85.2	108.0
	内 訳	市 民 病 院	20,930,766,494	77.2	19,267,271,067	77.2	108.6
		木 曽 川 市 民 病 院	2,011,763,801	7.4	1,979,553,844	7.9	101.6
医 業 外 収 益	受 取 利 息		236,497	0.0	457,532	0.0	51.7
	内 訳	市 民 病 院	32,445	0.0	17,675	0.0	183.6
		木 曽 川 市 民 病 院	204,052	0.0	439,857	0.0	46.4
	補 助 金		2,374,272,776	8.8	1,824,988,738	7.3	130.1
	内 訳	市 民 病 院	2,145,301,776	7.9	1,793,647,738	7.2	119.6
		木 曽 川 市 民 病 院	228,971,000	0.8	31,341,000	0.1	730.6
	負 担 金 ・ 交 付 金		1,345,641,939	5.0	1,372,540,862	5.5	98.0
	内 訳	市 民 病 院	1,128,955,696	4.2	1,153,256,788	4.6	97.9
		木 曽 川 市 民 病 院	216,686,243	0.8	219,284,074	0.9	98.8
	患 者 外 給 食 収 益 (市 民 病 院)		689,186	0.0	587,881	0.0	117.2
	保 育 収 益 (市 民 病 院)		6,313,044	0.0	8,274,741	0.0	76.3

区 分			令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前年度 対 比	
			決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
医 業 外 収 益			円	%	円	%	%	
	長期前受金戻入		334,102,545	1.2	304,646,052	1.2	109.7	
	内 訳	市 民 病 院	307,075,793	1.1	280,876,705	1.1	109.3	
		木 曽 川 市 民 病 院	27,026,752	0.1	23,769,347	0.1	113.7	
	雑 収 益		147,675	0.0	—	—	—	
	内 訳	市 民 病 院	8,580	0.0	—	—	—	
		木 曽 川 市 民 病 院	139,095	0.0	—	—	—	
	その他医業外収益		103,961,324	0.4	179,344,900	0.7	58.0	
	内 訳	市 民 病 院	96,628,775	0.4	165,300,152	0.7	58.5	
		木 曽 川 市 民 病 院	7,332,549	0.0	14,044,748	0.1	52.2	
	計		4,165,364,986	15.4	3,690,840,706	14.8	112.9	
	内 訳	市 民 病 院	3,685,005,295	13.6	3,401,961,680	13.6	108.3	
		木 曽 川 市 民 病 院	480,359,691	1.8	288,879,026	1.2	166.3	
	特 別 利 益	過 年 度 収 益		2,101,705	0.0	379,063	0.0	554.4
		内 訳	市 民 病 院	2,069,216	0.0	195,926	0.0	1,056.1
木 曽 川 市 民 病 院			32,489	0.0	183,137	0.0	17.7	
固定資産売却益 （市民病院）		9,999,000	0.0	—	—	—		
その他特別利益 （市民病院）		1,440,000	0.0	4,517,161	0.0	31.9		
計		13,540,705	0.0	4,896,224	0.0	276.6		
内 訳		市 民 病 院	13,508,216	0.0	4,713,087	0.0	286.6	
		木 曽 川 市 民 病 院	32,489	0.0	183,137	0.0	17.7	
合 計			27,121,152,877	100.0	24,942,324,220	100.0	108.7	
内 訳	市 民 病 院	24,629,280,005	90.8	22,673,945,834	90.9	108.6		
	木 曽 川 市 民 病 院	2,492,155,981	9.2	2,268,616,007	9.1	109.9		

(注) 1 医業収益の決算額は、病院事業会計の内部取引が相殺消去され、純計となっているので内訳の2病院の決算額と一致しない。

2 内部取引として医業収益から相殺された額は、令和 2 年度が 237,621 円、令和 3 年度が 283,109 円である。

(2) 費 用

ア 市民病院

医業費用は、220 億 5,676 万 1,684 円で前年度に比べ 6 億 6,692 万 750 円（3.1%）増加している。

増加した主なものは、材料費 4 億 8,569 万 7,263 円（7.5%）、給与費 2 億 931 万 1,412 円（2.1%）である。材料費が増加した要因は、抗がん剤などの高額な薬品の使用が増加したことなどであると考えられる。給与費が増加した主な要因は新型コロナウイルス感染症ワクチン接種業務に対する時間外勤務手当及び特別勤務手当が増加したことなどであると考えられる。なお、減少したものは、減価償却費 1 億 9,379 万 7,061 円（10.1%）である。減価償却費が減少した要因は、減価償却の対象となる建物付属設備が減少したことなどであると考えられる。

医業外費用は、13 億 7,766 万 9,707 円で前年度に比べ 1,364 万 7,078 円（1.0%）減少している。減少した主なものは、支払利息 981 万 4,626 円（4.8%）である。

特別損失は、118 万 6,589 円で前年度に比べ 85 万 9,074 円（262.3%）増加している。

イ 木曽川市民病院

医業費用は、23 億 420 万 9,770 円で前年度に比べ 3,251 万 4,548 円（1.4%）減少している。

減少した主なものは、材料費 4,225 万 7,309 円（13.5%）である。材料費が減少した要因は、高額な薬品の使用量が減少したことなどであると考えられる。なお、増加した主なものは、給与費 1,191 万 4,764 円（0.8%）である。給与費が増加した要因は、育児休業復帰者の増加により給料の支給対象となる年延職員数が増加したことなどであると考えられる。

医業外費用は、8,246 万 9,811 円で前年度に比べ 651 万 7,338 円（7.3%）減少している。

減少した主なものは、雑損失 545 万 8,809 円（7.7%）である。

特別損失は、119 万 2,463 円で前年度に比べ 80 万 4,627 円（207.5%）増加している。

病院事業費用について、項目別に前年度と比較すれば次のとおりである。

区 分			令和 3 年 度		令和 2 年 度		前年度 対 比
			決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	
医 							

区 分		令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前年度 対 比
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	
医 業 外 費 用	支 払 利 息	円 206,171,717	% 0.8	円 216,983,278	% 0.9	% 95.0
	内 市 民 病 院	196,070,843	0.8	205,885,469	0.8	95.2
	内 木 曽 川 市 民 病 院	10,100,874	0.0	11,097,809	0.0	91.0
	患 者 外 給 食 費 (市 民 病 院)	413,340	0.0	321,590	0.0	128.5
	保 育 費 (市 民 病 院)	58,792,567	0.2	60,752,079	0.2	96.8
	長 期 前 払 消 費 税 償 却	172,831,255	0.7	172,760,389	0.7	100.0
	内 市 民 病 院	165,554,806	0.6	165,422,346	0.7	100.1
	内 木 曽 川 市 民 病 院	7,276,449	0.0	7,338,043	0.0	99.2
	雑 損 失	1,021,930,639	4.0	1,029,486,598	4.1	99.3
	内 市 民 病 院	956,838,151	3.7	958,935,301	3.8	99.8
	内 木 曽 川 市 民 病 院	65,092,488	0.3	70,551,297	0.3	92.3
	計	1,460,139,518	5.7	1,480,303,934	5.9	98.6
	内 市 民 病 院	1,377,669,707	5.3	1,391,316,785	5.5	99.0
	内 木 曽 川 市 民 病 院	82,469,811	0.3	88,987,149	0.4	92.7
特 別 損 失	過 年 度 損 失	2,379,052	0.0	715,351	0.0	332.6
	内 市 民 病 院	1,186,589	0.0	327,515	0.0	362.3
	内 木 曽 川 市 民 病 院	1,192,463	0.0	387,836	0.0	307.5
	合 計	25,823,206,915	100.0	25,207,346,916	100.0	102.4
	内 市 民 病 院	23,435,617,980	90.8	22,781,485,234	90.4	102.9
	内 木 曽 川 市 民 病 院	2,387,872,044	9.2	2,426,099,303	9.6	98.4

(注) 1 医業費用の決算額は、病院事業会計の内部取引が相殺消去され、純計となっているので内訳の2病院の決算額と一致しない。

2 内部取引として医業費用から相殺された額は、令和 2 年度が 237,621 円、令和 3 年度が 283,109 円である。

(3) 一般会計からの繰入金

一般会計が繰り出しを行う場合の基準となる基本的な考え方を総務省が定めた「地方公営企業繰出金の基準」に基づき一般会計から繰り入れた金額は次のとおりであり、収益的収入に係る繰入金は、全額医業外収益に計上されている。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	前年度対比
市 民 病 院	収 益 の 収 入	円	円	%
	企 業 債 償 還 利 息 負 担 金	102,874,319	107,825,685	95.4
	医師等研究研修経費負担金	12,772,135	25,323,817	50.4
	基礎年金拠出金公的負担金	215,725,584	211,344,806	102.1
	救急医療確保経費負担金	245,721,973	241,856,888	101.6
	高 度 医 療 経 費 負 担 金	88,862,937	104,826,778	84.8
	特 殊 医 療 経 費 負 担 金	40,774,523	40,189,917	101.5
	周産期医療経費負担金	107,228,504	107,074,826	100.1
	小 児 医 療 経 費 負 担 金	6,878,760	6,833,160	100.7
	保健衛生行政事務経費負担金	56,816,792	55,459,224	102.4
	共済追加費用負担経費負担金	49,419,936	51,729,600	95.5
	リハビリテーション医療経費負担金	58,874,266	59,952,097	98.2
	結 核 医 療 経 費 負 担 金	65,420,074	66,290,284	98.7
	感 染 症 医 療 経 費 負 担 金	0	72,964	0.0
	児 童 手 当 経 費 負 担 金	40,078,000	39,446,000	101.6
	院内保育所運営経費負担金	26,614,731	31,707,477	83.9
	小 計	1,118,062,534	1,149,933,523	97.2
	資 本 の 収 入			
	企 業 債 償 還 元 金 負 担 金	261,602,398	256,651,032	101.9
	合 計	1,379,664,932	1,406,584,555	98.1
木 曽 川 市 民 病 院	収 益 の 収 入			
	企 業 債 償 還 利 息 負 担 金	6,657,402	7,312,318	91.0
	医師等研究研修経費負担金	1,206,185	2,145,757	56.2
	基礎年金拠出金公的負担金	29,793,732	29,521,583	100.9
	救急医療確保経費負担金	32,323,381	32,371,584	99.9
	高 度 医 療 経 費 負 担 金	6,115,240	7,192,773	85.0
	特 殊 医 療 経 費 負 担 金	30,634,089	29,904,278	102.4
	保健衛生行政事務経費負担金	33,487,595	33,386,088	100.3
	共済追加費用負担経費負担金	6,756,720	7,150,800	94.5
	リハビリテーション医療経費負担金	62,385,669	62,420,663	99.9
	児 童 手 当 経 費 負 担 金	6,862,000	7,414,000	92.6
	小 計	216,222,013	218,819,844	98.8
	資 本 の 収 入			
	企 業 債 償 還 元 金 負 担 金	36,529,119	35,874,202	101.8
合 計	252,751,132	254,694,046	99.2	
総 計		1,632,416,064	1,661,278,601	98.3

(4) 経営分析

経営の健全性、効率性について示す主な指標は、次のとおりである。

なお、病院事業全体の比率の算出に当たっては、市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去された数値を用いた。

ア 経常収支比率

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	%	%	%	%	%
病院事業全体	98.8	96.8	92.5	98.9	105.0
市民病院	98.7	96.7	92.2	99.5	105.0
木 曽 川 市 民 病 院	99.8	97.9	95.1	93.5	104.4

経常収支比率(%)＝経常収益／経常費用×100

経常収支比率は、医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標である。公立病院経営強化ガイドラインでは、公立病院が地域の医療提供体制の中で、適切に役割・機能を果たし良質な医療を提供していくためには、一般会計から所定の繰出が行われれば「経常黒字」となる水準を早期に達成し、これを維持することにより持続可能な経営を実現する必要があるとされている。

本年度における経常収支比率は、市民病院では、前年度に比べ 5.5 ポイント改善し 105.0%、木曽川市民病院では、前年度に比べ 10.9 ポイント改善し 104.4%となり、2病院とも黒字に転じた。これは、医業収益が増加したこと、新型コロナウイルス感染症関連の国・県補助金が増加したことなどによるものである。

イ 医業収支比率

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	%	%	%	%	%
病院事業全体	94.6	92.7	89.8	89.5	94.2
市民病院	94.9	93.1	90.0	90.1	94.9
木 曽 川 市 民 病 院	91.6	89.6	87.8	84.7	87.3

医業収支比率(%)＝医業収益／医業費用×100

医業収支比率は、病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標で、医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示すものであり、医業活動における経営状況を判断するものである。

本年度における医業収支比率は、市民病院では、薬品費の増加などにより医業費用が増加したものの、入院収益、外来収益の増加などによる医業収益の増加が上回ったため、前年度に比

4.8 ポイント改善し 94.9%となった。木曽川市民病院では、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種件数の増加などにより医業収益が増加し、薬品費の減少などにより医業費用が減少したため、前年度に比べ 2.6 ポイント改善し 87.3%となった。

ウ 患者 1 人 1 日当たり収益

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度
入 院	病院事業全体	円 59,531	円 62,665	円 64,329	円 70,514	円 73,032
	市民病院	65,862	69,991	71,845	79,355	82,094
	木 曾 川 市 民 病 院	32,744	33,527	33,931	35,111	35,655
外 来	病院事業全体	16,805	17,940	19,883	21,551	22,538
	市民病院	16,877	18,195	20,183	22,091	23,321
	木 曾 川 市 民 病 院	16,057	15,403	16,927	16,739	15,652

入院患者1人1日当たり収益(円)＝入院収益／年延入院患者数

外来患者1人1日当たり収益(円)＝外来収益／年延外来患者数

この指標は、入院・外来患者への診療及び療養に係る収益について、入院・外来患者 1 人 1 日当たりの平均単価を示すもので、経年比較で減少傾向にある場合は、その原因について分析し、安定した収益が確保できるよう、改善に向けて検討することが求められる。

入院患者 1 人 1 日当たり収益は、前年度に比べ市民病院では 2,739 円、木曽川市民病院では 544 円増加し、2 病院とも増加傾向にある。また、外来患者 1 人 1 日当たり収益は、市民病院では前年度に比べ 1,230 円増加し増加傾向にあるが、木曽川市民病院では前年度に比べ 1,087 円減少しており減少傾向にある。

エ 職員 1 人当たり医業収益

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度
病院事業全体	千円 15,561	千円 15,456	千円 16,128	千円 13,663	千円 14,622
市民病院	16,179	16,076	16,812	14,336	15,390
木 曾 川 市 民 病 院	11,557	11,464	11,708	9,382	9,626

職員1人当たり医業収益(千円)＝医業収益／職員数

職員 1 人当たり医業収益は、職員 1 人当たりの生産性を病院の主たる収入である医業収益の面から見た指標で、大きいほど良いとされている。

本年度の職員 1 人当たり医業収益は、市民病院では、前年度に比べ 1,054 千円増の 15,390 千円、木曽川市民病院では、244 千円増の 9,626 千円となっている。

4 財政状態

本年度の資産総額は、320 億 8,247 万 8,380 円で前年度に比べ 5 億 626 万 4,831 円（1.6%）増加している。

資産の構成比率は、固定資産 67.4%、流動資産 32.6%である。

次に、負債及び資本の総額は、320 億 8,247 万 8,380 円で、その構成比率は、固定負債 54.3%、流動負債 10.9%、繰延収益 2.7%、資本金 59.8%、剰余金マイナス 27.7%となっている。

（1）固定資産

固定資産総額は、216 億 2,293 万 9,951 円で前年度に比べ 12 億 7,857 万 6,163 円（5.6%）減少している。

固定資産の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		令和 3 年 度	令和 2 年 度	増 ・ △ 減	前 年 度 対 比
		円	円	円	%
有形固定資産		21,208,402,139	22,375,261,986	△1,166,859,847	94.8
内 訳	市民病院	20,069,817,414	21,141,130,423	△1,071,313,009	94.9
	木曽川 市民病院	1,138,584,725	1,234,131,563	△95,546,838	92.3
無形固定資産		2,219,027	2,219,027	0	100.0
内 訳	市民病院	1,906,200	1,906,200	0	100.0
	木曽川 市民病院	312,827	312,827	0	100.0
投資その他の資産		412,318,785	524,035,101	△111,716,316	78.7
内 訳	市民病院	396,013,250	502,860,431	△106,847,181	78.8
	木曽川 市民病院	16,305,535	21,174,670	△4,869,135	77.0
合 計		21,622,939,951	22,901,516,114	△1,278,576,163	94.4
内 訳	市民病院	20,467,736,864	21,645,897,054	△1,178,160,190	94.6
	木曽川 市民病院	1,155,203,087	1,255,619,060	△100,415,973	92.0

市民病院の固定資産総額は、204 億 6,773 万 6,864 円で前年度に比べ 11 億 7,816 万 190 円（5.4%）減少している。

有形固定資産では、北館・南館（A・B 棟）改修関連工事に伴う建物、建物付属設備等の増加や、器械及び備品などの増加があるものの、減価償却と器械及び備品の除却により、全体として 10 億 7,131 万 3,009 円（5.1%）減少となっている。

投資その他の資産では、長期前払消費税の減少により、1億684万7,181円（21.2%）減少している。

木曽川市民病院の固定資産総額は、11億5,520万3,087円で前年度に比べ1億41万5,973円（8.0%）減少している。

有形固定資産では、器械及び備品の増加があるものの、減価償却と器械及び備品の除却により、全体として9,554万6,838円（7.7%）減少となっている。

投資その他の資産では、長期前払消費税の減少により、486万9,135円（23.0%）減少している。

（2）流動資産

流動資産総額は、104億5,953万8,429円で前年度に比べ17億8,484万994円（20.6%）増加している。

流動資産の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減	前 年 度 対 比
現 金 預 金		円 5,924,576,027	円 3,881,848,413	円 2,042,727,614	% 152.6
内 訳	市 民 病 院	4,255,976,769	2,281,350,661	1,974,626,108	186.6
	木 曽 川 市 民 病 院	1,668,599,258	1,600,497,752	68,101,506	104.3
未 収 金		4,428,310,899	4,704,089,786	△275,778,887	94.1
内 訳	市 民 病 院	3,989,187,257	4,327,470,545	△338,283,288	92.2
	木 曽 川 市 民 病 院	442,546,598	380,634,946	61,911,652	116.3
貸 倒 引 当 金		△30,005,826	△34,360,291	4,354,465	87.3
内 訳	市 民 病 院	△29,302,369	△33,396,357	4,093,988	87.7
	木 曽 川 市 民 病 院	△703,457	△963,934	260,477	73.0
貯 蔵 品		135,881,382	122,544,637	13,336,745	110.9
内 訳	市 民 病 院	130,788,587	114,311,694	16,476,893	114.4
	木 曽 川 市 民 病 院	5,092,795	8,232,943	△3,140,148	61.9
前 払 費 用		775,947	574,890	201,057	135.0
内 訳	市 民 病 院	765,957	573,900	192,057	133.5
	木 曽 川 市 民 病 院	9,990	990	9,000	1,009.1
合 計		10,459,538,429	8,674,697,435	1,784,840,994	120.6
内 訳	市 民 病 院	8,347,416,201	6,690,310,443	1,657,105,758	124.8
	木 曽 川 市 民 病 院	2,115,545,184	1,988,402,697	127,142,487	106.4

(注) 1 未収金の決算額は、病院事業会計の内部取引が相殺消去され、純計となっているので、内訳の2病院の決算額の計と一致しない。

2 内部取引として未収金から相殺消去された額は令和 2 年度が 4,015,705 円、令和 3 年度が 3,422,956 円である。

未収金のうち主なものは、市民病院では入院収益 20 億 7,649 万 1,681 円、外来収益 11 億 1,897 万 168 円、国・県補助金 4 億 6,905 万 5,776 円、木曽川市民病院では入院収益 2 億 1,037 万 9,057 円、外来収益 8,374 万 8,971 円である。

市民病院の未収金は、前年度に比べ 3 億 3,828 万 3,288 円 (7.8%) 減少している。減少した主なものは、国・県補助金 3 億 5,557 万 4,962 円 (43.1%)、入院収益 1 億 7,645 万 1,619 円

(7.8%)である。

木曽川市民病院の未収金は、前年度に比べ6,191万1,652円(16.3%)増加している。増加した主なものは、国・県補助金1億526万5,000円(347.7%)である。

未収金の大半を占める入院収益、外来収益等は、保険請求分と患者負担分である。そのうち保険請求分については、年度末分が通常次年度当初に収入される性質のもので、企業会計上では未収金として整理するが、本質的には滞納分にはあたらない。そこで、5月末現在の医業未収金を前年同月と比較してみると、市民病院では増加し、木曽川市民病院では減少している。そのうち現年度(決算年度)分についても市民病院では増加し、木曽川市民病院では減少している。過年度分については市民病院では減少し、木曽川市民病院では増加している。

未収金の中で注視すべきものは患者負担分であり、その対策には2病院とも努力されているところである。発生した未収金の回収は困難であることが多く、時間的、経済的コストも伴うことから予防策を講じることが重要となるため、早期収納に係る対策に併せて、発生防止にも取り組み、引き続き病院全体として効果的、効率的な未収金対策に注力されるよう要望する。

また、貸倒引当金は、金銭債権の貸倒れに備えて将来の回収不納見込額が計上されたものであり、貸倒引当金の取崩しにより不納欠損処理が行われる。

そこで、不納欠損額をみると、市民病院の不納欠損額は599万5,384円で前年度に比べ183万6,824円(44.2%)増加しており、木曽川市民病院の不納欠損額は26万1,980円で前年度から皆増となっている。不納欠損処分は、今後とも慎重かつ適正な取扱いを望むものである。

なお、貯蔵品について調査したところ、その受払い及び管理は、良好に行われていた。

(3) 固 定 負 債

固定負債総額は、174億773万7,544円で前年度に比べ7億1,660万4,448円(4.0%)減少している。

固定負債の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減	前 年 度 対 比
		円	円	円	%
企 業 債		11,791,587,392	12,340,930,086	△549,342,694	95.5
内 訳	市 民 病 院	11,351,070,267	11,842,349,011	△491,278,744	95.9
	木 曽 川 市 民 病 院	440,517,125	498,581,075	△58,063,950	88.4
リ ー ス 債 務		539,159,355	763,565,066	△224,405,711	70.6
内 訳	市 民 病 院	505,916,443	709,471,049	△203,554,606	71.3
	木 曽 川 市 民 病 院	33,242,912	54,094,017	△20,851,105	61.5
退 職 給 付 引 当 金		5,076,990,797	5,019,846,840	57,143,957	101.1
内 訳	市 民 病 院	4,339,489,373	4,260,100,350	79,389,023	101.9
	木 曽 川 市 民 病 院	737,501,424	759,746,490	△22,245,066	97.1
合 計		17,407,737,544	18,124,341,992	△716,604,448	96.0
内 訳	市 民 病 院	16,196,476,083	16,811,920,410	△615,444,327	96.3
	木 曽 川 市 民 病 院	1,211,261,461	1,312,421,582	△101,160,121	92.3

市民病院の固定負債総額は、161 億 9,647 万 6,083 円で前年度に比べ 6 億 1,544 万 4,327 円（3.7%）減少している。

木曽川市民病院の固定負債総額は、12 億 1,126 万 1,461 円で前年度に比べ 1 億 116 万 121 円（7.7%）減少している。

（４）流 動 負 債

流動負債総額は、35 億 979 万 4,995 円で前年度に比べ 7,402 万 572 円（2.1%）減少している。

流動負債の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減	前 年 度 対 比
		円	円	円	%
企 業 債		549,342,694	539,029,891	10,312,803	101.9
内 訳	市 民 病 院	491,278,744	481,969,052	9,309,692	101.9
	木 曽 川 市 民 病 院	58,063,950	57,060,839	1,003,111	101.8
リ ー ス 債 務		366,906,455	374,688,052	△7,781,597	97.9
内 訳	市 民 病 院	346,055,350	343,184,104	2,871,246	100.8
	木 曽 川 市 民 病 院	20,851,105	31,503,948	△10,652,843	66.2
未 払 金		1,829,093,789	1,835,937,705	△6,843,916	99.6
内 訳	市 民 病 院	1,620,215,988	1,646,936,919	△26,720,931	98.4
	木 曽 川 市 民 病 院	212,300,757	193,016,491	19,284,266	110.0
預 り 金		108,387,888	93,148,655	15,239,233	116.4
内 訳	市 民 病 院	86,127,111	82,976,842	3,150,269	103.8
	木 曽 川 市 民 病 院	22,260,777	10,171,813	12,088,964	218.8
賞 与 引 当 金		554,958,000	625,344,892	△70,386,892	88.7
内 訳	市 民 病 院	482,272,465	543,777,246	△61,504,781	88.7
	木 曽 川 市 民 病 院	72,685,535	81,567,646	△8,882,111	89.1
法 定 福 利 費 引 当 金		101,106,169	115,666,372	△14,560,203	87.4
内 訳	市 民 病 院	87,774,687	100,612,834	△12,838,147	87.2
	木 曽 川 市 民 病 院	13,331,482	15,053,538	△1,722,056	88.6
合 計		3,509,794,995	3,583,815,567	△74,020,572	97.9
内 訳	市 民 病 院	3,113,724,345	3,199,456,997	△85,732,652	97.3
	木 曽 川 市 民 病 院	399,493,606	388,374,275	11,119,331	102.9

(注) 1 未払金の決算額は、病院事業会計の内部取引が相殺消去され、純計となっているので、内訳の2病院の決算額の計と一致しない。

2 内部取引として未払金から相殺消去された額は、令和 2 年度が 4,015,705 円、令和 3 年度が 3,422,956 円である。

市民病院の流動負債総額は、31 億 1,372 万 4,345 円で前年度に比べ 8,573 万 2,652 円(2.7%)減少している。

市民病院の未払金のうち主なものは、医業未払金では委託料などの経費 3 億 9,154 万 3,687

円、退職手当 3 億 5,775 万 7,303 円、手当などの給与費 1 億 7,665 万 7,881 円、医業外未払金では企業債利息 892 万 4,676 円、その他未払金では薬品・診療材料購入費 5 億 4,957 万 1,970 円、建設改良未払金では器械及び備品購入費 7,259 万 8,900 円である。

木曽川市民病院の流動負債総額は、3 億 9,949 万 3,606 円で前年度に比べ 1,111 万 9,331 円 (2.9%) 増加している。

木曽川市民病院の未払金のうち主なものは、医業未払金では退職手当 9,573 万 8,085 円、委託料などの経費 4,838 万 6,572 円、手当などの給与費 2,943 万 4,822 円、医業外未払金では企業債利息 27 万 4,494 円、その他未払金では薬品・診療材料購入費 1,782 万 8,983 円、建設改良未払金では器械及び備品購入費 364 万 8,264 円である。

(5) 繰延収益

繰延収益は、償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金、一般会計負担金等を、長期前受金として負債に計上したうえで、減価償却見合い分を順次収益化するものである。

繰延収益総額は、8 億 5,509 万 6,590 円で前年度に比べ 150 万 6,111 円 (0.2%) 減少している。

繰延収益の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		令和 3 年 度	令和 2 年 度	増 ・ △ 減	前 年 度 対 比
		円	円	円	%
長 期 前 受 金		3,331,946,322	2,993,022,968	338,923,354	111.3
内 訳	市 民 病 院	2,952,211,924	2,652,798,689	299,413,235	111.3
	木 曽 川 市 民 病 院	379,734,398	340,224,279	39,510,119	111.6
収 益 化 累 計 額		△2,476,849,732	△2,136,420,267	△340,429,465	115.9
内 訳	市 民 病 院	△2,285,843,325	△1,972,440,612	△313,402,713	115.9
	木 曽 川 市 民 病 院	△191,006,407	△163,979,655	△27,026,752	116.5
合 計		855,096,590	856,602,701	△1,506,111	99.8
内 訳	市 民 病 院	666,368,599	680,358,077	△13,989,478	97.9
	木 曽 川 市 民 病 院	188,727,991	176,244,624	12,483,367	107.1

(6) 資 本 金

資本金総額は、191 億 8,834 万 8,623 円で前年度と同額である。

（７）剰 余 金

剰余金総額は、マイナス 88 億 7,849 万 9,372 円で前年度に比べ 12 億 9,839 万 5,962 円 (12.8%) 増加している。

剰余金の内訳及び本年度中の増減状況は、次のとおりである。

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減 内 訳
資 本 剰 余 金		円 39,083,874	円 38,633,874	円 450,000
内 訳	市 民 病 院	30,043,874	29,593,874	450,000
	木 曽 川 市 民 病 院	9,040,000	9,040,000	0
利 益 剰 余 金		△8,917,583,246	△10,215,529,208	1,297,945,962 (当年度純利益)
内 訳	市 民 病 院	△6,593,189,659	△7,786,851,684	1,193,662,025 (当年度純利益)
	木 曽 川 市 民 病 院	△2,324,393,587	△2,428,677,524	104,283,937 (当年度純利益)
合 計		△8,878,499,372	△10,176,895,334	1,298,395,962
内 訳	市 民 病 院	△6,563,145,785	△7,757,257,810	1,194,112,025
	木 曽 川 市 民 病 院	△2,315,353,587	△2,419,637,524	104,283,937

市民病院当年度未処理欠損金 65 億 9,318 万 9,659 円及び木曽川市民病院当年度未処理欠損金 23 億 2,439 万 3,587 円は、欠損金処理計算書のとおり、全額翌年度へ繰り越される。

（８）財務分析

経営の健全性について示す主な指標は、次のとおりである。

なお、病院事業全体の比率の算出に当たっては、市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去された数値を用いた。

ア 自己資本構成比率

	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度
病院事業全体	% 37.0	% 35.1	% 30.7	% 31.3	% 34.8
市 民 病 院	35.3	33.3	28.6	29.4	33.0
木 曽 川 市 民 病 院	51.4	50.8	48.6	47.6	50.8

自己資本構成比率(%) = (資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益) / 負債・資本合計 × 100

自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）のうち、どの程度が自己資本で賄われているかを示している。財務状態の長期的な安全性の見方として、その事業の資本構成が重要であり、この比率が高いほど負債（借入金）が少ないと判断されることが多く、経営の安全性は高いといえる。一般的に、公営企業は、施設の建設費を企業債によって調達していることが多いので、低くなる傾向にある。

本年度の自己資本構成比率は、市民病院では、前年度に比べ 3.6 ポイント改善し 33.0%、木曽川市民病院では、前年度に比べ 3.2 ポイント改善し 50.8%となり、2 病院とも改善傾向にある。

イ 固定資産対長期資本比率

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
病院事業全体	% 68.5	% 81.3	% 85.1	% 81.8	% 75.7
市民病院	71.3	85.4	89.8	86.1	79.6
木 曽 川 市 民 病 院	45.2	44.4	44.8	44.0	40.2

固定資産対長期資本比率(%) = 固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 固定負債 + 繰延収益) × 100

固定資産対長期資本比率は、固定資産が、どの程度返済期限のない自己資本（自己資本金、剰余金）や長期に活用可能な固定負債（長期借入金）によって調達されているかを示している。この比率は常に 100%以下で、かつ、低いことが望ましい。100%を上回っている場合には、固定資産の一部が一時借入金等の流動負債によって調達されていることを示す。一般的に、最も安全性を阻害するのは流動負債で固定資産を取得することで、この場合、この比率は著しく高くなり、不良債務発生の原因となる。

本年度の固定資産対長期資本比率は、市民病院では、前年度に比べ 6.5 ポイント改善し 79.6%、木曽川市民病院では、前年度に比べ 3.8 ポイント改善し 40.2%となり、2 病院とも改善傾向にある。

ウ 流動比率

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
病院事業全体	% 333.7	% 283.2	% 227.2	% 242.1	% 298.0
市民病院	304.6	245.4	187.5	209.1	268.1
木 曽 川 市 民 病 院	717.0	566.5	557.7	512.0	529.6

流動比率(%) = 流動資産 / 流動負債 × 100

短期的な債務に対する支払能力を表す指標で、1 年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す。100%以上であることが必要であり、一般的に 100%を下回るということは、1 年以内に現金化できる資産で、1 年以内に支払わなければならない負債

を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要がある。

本年度の流動比率は、市民病院では、前年度に比べ 59.0 ポイント改善し 268.1%、木曽川市民病院では、前年度に比べ 17.6 ポイント改善し 529.6%となり、2 病院とも改善傾向にある。

(9) 資金の運用状況

キャッシュ・フロー計算書を基に市民病院、木曽川市民病院の資金運用状況をみると、次のとおりである。

ア 業務活動によるキャッシュ・フロー

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施による資金の増減を表している。市民病院では、当年度純利益 11 億 9,366 万 2,025 円を計上し、減価償却費などにより 29 億 7,362 万 4,086 円の収入超過となっている。木曽川市民病院では、当年度純利益 1 億 428 万 3,937 円を計上し、減価償却費などにより 1 億 815 万 5,876 円の収入超過となっている。

イ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動による資金の増減を表している。市民病院では、一般会計からの繰入金及び国庫補助金等による収入などがあつたものの、有形固定資産の取得による支出により 1 億 7,160 万 2,823 円の支出超過となっている。木曽川市民病院では、有価固定資産の取得による支出があつたものの、一般会計からの繰入金及び国庫補助金等による収入により 4,850 万 3,019 円の収入超過となっている。

なお、業務活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計で求められるフリー・キャッシュ・フローは、業務活動で獲得した資金から、事業を維持するために必要な資金を差し引くことで、事業者が自由に使用できる余剰資金を表している。市民病院では、業務活動によるキャッシュ・フローの増加が投資活動によるキャッシュ・フローの減少を上回り、28 億 202 万 1,263 円の収入超過となっている。木曽川市民病院では、業務活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローともに増加し、1 億 5,665 万 8,895 円の収入超過となっている。

ウ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、資金が不足した場合にどのように資金の調達をしたのか、資金に余裕がある場合にどの程度借入金を返済したのかを表している。市民病院では、企業債の償還及びリース債務の返済による支出により 8 億 2,739 万 5,155 円の支出超過となっている。木曽川市民病院においても同様に 8,855 万 7,389 円の支出超過となっている。

この結果、本年度における資金期末残高は、市民病院では、前年度に比べ 19 億 7,462 万 6,108 円増の 42 億 5,597 万 6,769 円、木曽川市民病院では、6,810 万 1,506 円増の 16 億 6,859 万 9,258 円となっている。

む す び

以上が令和3年度病院事業会計決算審査の概要であるが、最後に総括的な意見を述べて本審査のむすびとする。

市民病院においては、北館・南館（A・B棟）改修工事が全て完了し、病院機能と患者の利便性の向上が図られた。また、木曽川市民病院においては、地域包括ケア病床や回復期リハビリテーション病棟の活用などにより、地域に密着した医療の充実に努めた。

業務状況は、総患者数延53万9,552人で、前年度に比べ1万9,212人増加したものの、新型コロナウイルス感染症流行前の実績には届かなかった。その内訳をみると、入院患者数は、延20万1,482人で前年度に比べ2,738人増加し、外来患者数は、延33万8,070人で前年度に比べ1万6,474人増加した。

経営成績は、市民病院では、事業収益246億2,928万円余（前年度比108.6%）、事業費用234億3,561万円余（前年度比102.9%）となり、差し引き11億9,366万円余の純利益となった。木曽川市民病院では、事業収益24億9,215万円余（前年度比109.9%）、事業費用23億8,787万円余（前年度比98.4%）となり、差し引き1億428万円余の純利益となった。この結果、病院事業全体では、12億9,794万円余の純利益となり、前年度2億6,502万円余の純損失から15億6,296万円余損失が減少した。また、当年度未処理欠損金は89億1,758万円余に減少した。

2病院ともに、医業収益は前年度に比べ増加したものの医業損益は引き続き赤字となったが、新型コロナウイルス感染症関連の国・県補助金収入により、経常損益は黒字となった。

病院事業経営改革については、「新公立病院改革プラン」を策定し、取り組まれてきたところであるが、今後は、公立病院の経営強化に取り組むため、遅くとも令和5年度末までに「公立病院経営強化プラン」を策定することが求められており、総務省が示すガイドラインでは、「役割・機能の最適化と連携の強化」、「医師・看護師等の確保と働き方改革」、「経営形態の見直し」、「新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」、「施設・設備の最適化」、「経営の効率化等」の6つの視点から経営強化に取り組むこととされている。この中でも、経営の効率化等については、一般会計等から所定の繰出が行われれば「経常黒字」となる水準を早期に達成し、これを維持することにより、持続可能な経営を実現する必要があるとされている。令和3年度は経常黒字となったものの、新型コロナウイルス感染症関連の国・県補助金収入を差し引くと、一般会計繰入金を含めた経常損益は2病院ともに赤字となる状態である。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っておらず、その対応を最優先課題とする中ではあるが、現状把握及び分析を徹底し、経常黒字化に向けた具体的な数値目標を定め、その目標を達成するために本業である医業収支の改善に向けた取組を進められたい。

最後に、市民病院は高度急性期・急性期医療を担う基幹病院として、木曽川市民病院は市民病院の後方支援病院として連携を密にし、限られた医療資源を地域全体で最大限効率的に活用できるよう、未来を見据えた持続可能な医療の提供に努められることを要望する。

一宮市病院事業会計決算に基づく
資金不足比率審査意見

令和4年8月23日

一宮市長 中野正康様

一宮市監査委員 和家 淳

一宮市監査委員 丹羽 達

一宮市監査委員 鵜飼 和司

一宮市監査委員 渡部 晃久

令和3年度一宮市公営企業会計（病院事業会計）決算に基づく
資金不足比率審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により審査に付された令和3年度一宮市病院事業会計決算に基づく資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査した結果、次のとおりその意見を提出します。

令和３年度一宮市病院事業会計決算に基づく資金不足比率審査意見

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 22 条第 1 項による資金不足比率審査を一宮市監査委員監査基準に準拠して実施した。その概要及び結果は次のとおりである。

第 1 審査の対象

令和 3 年度決算に基づく資金不足比率
上記比率の算定の基礎となる事項を記載した書類

第 2 審査の方法等

1 主な着眼点

総務省が作成した記載要領及びチェックポイント等に基づき、次の項目を主眼として審査を実施した。

- (1) 各比率の算定の基礎となる事項を記載した書類は適正に作成されているか。
- (2) 比率の算定は適正に行われているか。

2 主な実施内容

審査にあたっては、審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、決算書類その他関係書類との照合確認を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

3 実施場所及び日程

監査事務局による 書類調査	監査事務局	令和 4 年 6 月 8 日～ 同年 7 月 12 日
監査委員による本審査	木曽川市民病院会議室	同年 7 月 20 日

第 3 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、法令に適合し、かつ正確に作成されているものと認められた。

なお、本事業会計に資金不足額はなく、資金不足比率は算出されないもので、特に指摘すべき事項はない。

会 計 名	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	経営健全化 基 準
病 院 事 業 会 計	—	—	—	20.0%

(注) 資金不足が発生していない場合は、資金不足比率を「—」で表示する。

病院事業会計決算審査資料

予 算 決 算

収			入		
科 目	予 算 現 額 (A)		決 算 額 (B)		執行率(%) (B/A)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
市民病院収益の収入	23,883,805,000	91.0	24,688,728,585	90.8	103.4
医 業 収 益	21,206,274,000	80.8	20,983,320,014	77.2	98.9
医 業 外 収 益	2,667,332,000	10.2	3,691,892,144	13.6	138.4
特 別 利 益	10,199,000	0.0	13,516,427	0.0	132.5
木曽川市民病院収益の収入	2,353,354,000	9.0	2,499,442,595	9.2	106.2
医 業 収 益	2,024,981,000	7.7	2,018,832,698	7.4	99.7
医 業 外 収 益	328,273,000	1.3	480,577,408	1.8	146.4
特 別 利 益	100,000	0.0	32,489	0.0	32.5
収 益 の 収 入 合 計	26,237,159,000	100.0	27,188,171,180	100.0	103.6
市民病院資本の収入	262,036,000	87.8	268,244,398	87.2	102.4
負 担 金	261,603,000	87.6	261,602,398	85.0	100.0
寄 附 金	100,000	0.0	0	0.0	0.0
補 助 金	333,000	0.1	6,642,000	2.2	1,994.6
木曽川市民病院資本の収入	36,530,000	12.2	39,510,119	12.8	108.2
負 担 金	36,530,000	12.2	36,529,119	11.9	100.0
補 助 金	0	0.0	2,981,000	1.0	—
資 本 の 収 入 合 計	298,566,000	100.0	307,754,517	100.0	103.1
(補てん財源)					
当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額			2,077,492		
過年度分損益勘定留保資金			1,174,343,469		

対 照 表

支			出		
科 目	予 算 現 額 (C)		決 算 額 (D)		執行率(%) (D/C)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
市民病院収益の支出	24,203,197,000	90.7	23,472,651,232	90.7	97.0
医 業 費 用	23,001,854,000	86.2	22,334,783,927	86.3	97.1
医 業 外 費 用	1,199,943,000	4.5	1,136,570,727	4.4	94.7
特 別 損 失	1,300,000	0.0	1,296,578	0.0	99.7
予 備 費	100,000	0.0	0	0.0	0.0
木曽川市民病院収益の支出	2,473,994,000	9.3	2,394,662,747	9.3	96.8
医 業 費 用	2,430,996,931	9.1	2,356,220,877	9.1	96.9
医 業 外 費 用	41,698,000	0.2	37,242,801	0.1	89.3
特 別 損 失	1,199,069	0.0	1,199,069	0.0	100.0
予 備 費	100,000	0.0	0	0.0	0.0
収 益 の 支 出 合 計	26,677,191,000	100.0	25,867,313,979	100.0	97.0
市民病院資本の支出	1,491,579,000	92.8	1,368,017,077	92.2	91.7
建 設 改 良 費	1,009,609,000	62.8	886,048,025	59.7	87.8
企 業 債 償 還 金	481,970,000	30.0	481,969,052	32.5	100.0
木曽川市民病院資本の支出	116,565,000	7.2	116,158,401	7.8	99.7
建 設 改 良 費	59,504,000	3.7	59,097,562	4.0	99.3
企 業 債 償 還 金	57,061,000	3.5	57,060,839	3.8	100.0
資 本 の 支 出 合 計	1,608,144,000	100.0	1,484,175,478	100.0	92.3

決 算 両 年

収		入			
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
市民病院収益の収入	24,688,728,585	90.8	22,706,609,048	90.9	108.7
医 業 収 益	20,983,320,014	77.2	19,291,990,732	77.2	108.8
医 業 外 収 益	3,691,892,144	13.6	3,409,893,775	13.7	108.3
特 別 利 益	13,516,427	0.0	4,724,541	0.0	286.1
木曽川市民病院収益の収入	2,499,442,595	9.2	2,273,080,061	9.1	110.0
医 業 収 益	2,018,832,698	7.4	1,983,885,910	7.9	101.8
医 業 外 収 益	480,577,408	1.8	289,011,014	1.2	166.3
特 別 利 益	32,489	0.0	183,137	0.0	17.7
収 益 の 収 入 合 計	27,188,171,180	100.0	24,979,689,109	100.0	108.8
市民病院資本の収入	268,244,398	87.2	471,405,032	83.0	56.9
負 担 金	261,602,398	85.0	256,651,032	45.2	101.9
寄 附 金	0	0.0	0	0.0	—
補 助 金	6,642,000	2.2	214,754,000	37.8	3.1
木曽川市民病院資本の収入	39,510,119	12.8	96,624,202	17.0	40.9
負 担 金	36,529,119	11.9	35,874,202	6.3	101.8
補 助 金	2,981,000	1.0	20,750,000	3.7	14.4
繰 入 金	—	—	40,000,000	7.0	—
資 本 の 収 入 合 計	307,754,517	100.0	568,029,234	100.0	54.2
(補てん財源)					
当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額	2,077,492		868,050		
過年度分損益勘定留保資金	1,174,343,469		963,406,801		

度 比 較 表

支 出					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
市民病院収益の支出	23,472,651,232	90.7	22,802,067,795	90.4	102.9
医 業 費 用	22,334,783,927	86.3	21,652,388,130	85.8	103.2
医 業 外 費 用	1,136,570,727	4.4	1,149,342,986	4.6	98.9
特 別 損 失	1,296,578	0.0	336,679	0.0	385.1
木曽川市民病院収益の支出	2,394,662,747	9.3	2,430,134,239	9.6	98.5
医 業 費 用	2,356,220,877	9.1	2,388,112,283	9.5	98.7
医 業 外 費 用	37,242,801	0.1	41,631,731	0.2	89.5
特 別 損 失	1,199,069	0.0	390,225	0.0	307.3
収 益 の 支 出 合 計	25,867,313,979	100.0	25,232,202,034	100.0	102.5
市民病院資本の支出	1,368,017,077	92.2	1,422,747,484	92.9	96.2
建 設 改 良 費	886,048,025	59.7	949,910,644	62.0	93.3
企 業 債 償 還 金	481,969,052	32.5	472,836,840	30.9	101.9
木曽川市民病院資本の支出	116,158,401	7.8	109,556,601	7.1	106.0
建 設 改 良 費	59,097,562	4.0	53,478,363	3.5	110.5
企 業 債 償 還 金	57,060,839	3.8	56,078,238	3.7	101.8
資 本 の 支 出 合 計	1,484,175,478	100.0	1,532,304,085	100.0	96.9

比 較 損 益 計 算 書

借 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
医 業 費 用	24,360,688,345	94.3	23,726,327,631	94.1	102.7
給 与 費	11,911,695,646	46.1	11,690,469,470	46.4	101.9
材 料 費	7,192,113,813	27.9	6,748,673,859	26.8	106.6
経 費 *	3,354,761,734	13.0	3,198,968,774	12.7	104.9
減 価 償 却 費	1,845,658,624	7.1	2,039,878,086	8.1	90.5
資 産 減 耗 費	9,634,349	0.0	4,328,817	0.0	222.6
研 究 研 修 費	46,824,179	0.2	44,008,625	0.2	106.4
医 業 外 費 用	1,460,139,518	5.7	1,480,303,934	5.9	98.6
支 払 利 息	206,171,717	0.8	216,983,278	0.9	95.0
患 者 外 給 食 費	413,340	0.0	321,590	0.0	128.5
保 育 費	58,792,567	0.2	60,752,079	0.2	96.8
長期前払消費税償却	172,831,255	0.7	172,760,389	0.7	100.0
雑 損 失	1,021,930,639	4.0	1,029,486,598	4.1	99.3
特 別 損 失	2,379,052	0.0	715,351	0.0	332.6
過 年 度 損 失	2,379,052	0.0	715,351	0.0	332.6
費 用 合 計	25,823,206,915	100.0	25,207,346,916	100.0	102.4
医 業 利 益	—		—		
経 常 利 益	1,286,784,309		—		
純 利 益	1,297,945,962		—		

(注) *印の科目は市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去され、純計と

(総 合)

貸 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
医 業 収 益	22,942,247,186	84.6	21,246,587,290	85.2	108.0
入 院 収 益	14,714,570,408	54.3	14,014,175,605	56.2	105.0
外 来 収 益*	7,619,290,246	28.1	6,930,814,442	27.8	109.9
その他医業収益*	608,386,532	2.2	301,597,243	1.2	201.7
医 業 外 収 益	4,165,364,986	15.4	3,690,840,706	14.8	112.9
受 取 利 息	236,497	0.0	457,532	0.0	51.7
補 助 金	2,374,272,776	8.8	1,824,988,738	7.3	130.1
負担金・交付金	1,345,641,939	5.0	1,372,540,862	5.5	98.0
患者外給食収益	689,186	0.0	587,881	0.0	117.2
保 育 収 益	6,313,044	0.0	8,274,741	0.0	76.3
長期前受金戻入	334,102,545	1.2	304,646,052	1.2	109.7
雑 収 益	147,675	0.0	—	—	—
その他医業外収益	103,961,324	0.4	179,344,900	0.7	58.0
特 別 利 益	13,540,705	0.0	4,896,224	0.0	276.6
過 年 度 収 益	2,101,705	0.0	379,063	0.0	554.4
固定資産売却益	9,999,000	0.0	—	—	—
その他特別利益	1,440,000	0.0	4,517,161	0.0	31.9
収 益 合 計	27,121,152,877	100.0	24,942,324,220	100.0	108.7
医 業 損 失	1,418,441,159		2,479,740,341		
経 常 損 失	—		269,203,569		
純 損 失	—		265,022,696		

なっている。

比 較 損 益 計 算 書

借 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
医 業 費 用	22,056,761,684	94.1	21,389,840,934	93.9	103.1
給 与 費	10,411,591,663	44.4	10,202,280,251	44.8	102.1
材 料 費	6,920,309,330	29.5	6,434,612,067	28.2	107.5
経 費	2,947,164,105	12.6	2,789,028,547	12.2	105.7
減 価 償 却 費	1,725,547,046	7.4	1,919,344,107	8.4	89.9
資 産 減 耗 費	8,889,751	0.0	2,886,318	0.0	308.0
研 究 研 修 費	43,259,789	0.2	41,689,644	0.2	103.8
医 業 外 費 用	1,377,669,707	5.9	1,391,316,785	6.1	99.0
支 払 利 息	196,070,843	0.8	205,885,469	0.9	95.2
患 者 外 給 食 費	413,340	0.0	321,590	0.0	128.5
保 育 費	58,792,567	0.3	60,752,079	0.3	96.8
長期前払消費税償却	165,554,806	0.7	165,422,346	0.7	100.1
雑 損 失	956,838,151	4.1	958,935,301	4.2	99.8
特 別 損 失	1,186,589	0.0	327,515	0.0	362.3
過 年 度 損 失	1,186,589	0.0	327,515	0.0	362.3
費 用 合 計	23,435,617,980	100.0	22,781,485,234	100.0	102.9
医 業 利 益	—		—		
経 常 利 益	1,181,340,398		—		
純 利 益	1,193,662,025		—		

(市 民 病 院)

貸 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
医 業 収 益	20,930,766,494	85.0	19,267,271,067	85.0	108.6
入 院 収 益	13,312,691,003	54.1	12,619,727,172	55.7	105.5
外 来 収 益	7,079,324,263	28.7	6,388,726,672	28.2	110.8
その他医業収益	538,751,228	2.2	258,817,223	1.1	208.2
医 業 外 収 益	3,685,005,295	15.0	3,401,961,680	15.0	108.3
受 取 利 息	32,445	0.0	17,675	0.0	183.6
補 助 金	2,145,301,776	8.7	1,793,647,738	7.9	119.6
負担金・交付金	1,128,955,696	4.6	1,153,256,788	5.1	97.9
患者外給食収益	689,186	0.0	587,881	0.0	117.2
保 育 収 益	6,313,044	0.0	8,274,741	0.0	76.3
長期前受金戻入	307,075,793	1.2	280,876,705	1.2	109.3
雑 収 益	8,580	0.0	—	—	—
その他医業外収益	96,628,775	0.4	165,300,152	0.7	58.5
特 別 利 益	13,508,216	0.1	4,713,087	0.0	286.6
過 年 度 収 益	2,069,216	0.0	195,926	0.0	1,056.1
固定資産売却益	9,999,000	0.0	—	—	—
その他特別利益	1,440,000	0.0	4,517,161	0.0	31.9
収 益 合 計	24,629,280,005	100.0	22,673,945,834	100.0	108.6
医 業 損 失	1,125,995,190		2,122,569,867		
経 常 損 失	—		111,924,972		
純 損 失	—		107,539,400		

比 較 損 益 計 算 書

借					
---	--	--	--	--	--

(木 曾 川 市 民 病 院)

貸 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
医 業 収 益	2,011,763,801	80.7	1,979,553,844	87.3	101.6
入 院 収 益	1,401,879,405	56.3	1,394,448,433	61.5	100.5
外 来 収 益	540,131,633	21.7	542,218,030	23.9	99.6
その他医業収益	69,752,763	2.8	42,887,381	1.9	162.6
医 業 外 収 益	480,359,691	19.3	288,879,026	12.7	166.3
受 取 利 息	204,052	0.0	439,857	0.0	46.4
補 助 金	228,971,000	9.2	31,341,000	1.4	730.6
負担金・交付金	216,686,243	8.7	219,284,074	9.7	98.8
長期前受金戻入	27,026,752	1.1	23,769,347	1.0	113.7
雑 収 益	139,095	0.0	—	—	—
その他医業外収益	7,332,549	0.3	14,044,748	0.6	52.2
特 別 利 益	32,489	0.0	183,137	0.0	17.7
過 年 度 収 益	32,489	0.0	183,137	0.0	17.7
収 益 合 計	2,492,155,981	100.0	2,268,616,007	100.0	109.9
医 業 損 失	292,445,969		357,170,474		
経 常 損 失	—		157,278,597		
純 損 失	—		157,483,296		

収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	令和3年度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比(%)
医業費用	11,911,791,846	10,530,974,032	64,062,869	1,853,859,598	24,360,688,345	94.3
給与費	11,911,695,646	—	—	—	11,911,695,646	46.1
材料費	—	7,192,113,813	—	—	7,192,113,813	27.9
経費*	96,200	3,290,602,665	64,062,869	—	3,354,761,734	13.0
減価償却費	—	—	—	1,845,658,624	1,845,658,624	7.1
資産減耗費	—	1,433,375	—	8,200,974	9,634,349	0.0
研究研修費	—	46,824,179	—	—	46,824,179	0.2
医業外費用	—	60,230,408	1,227,077,855	172,831,255	1,460,139,518	5.7
支払利息	—	—	206,171,717	—	206,171,717	0.8
患者外給食費	—	413,340	—	—	413,340	0.0
保育費	—	58,782,797	9,770	—	58,792,567	0.2
長期前払消費税償却	—	—	—	172,831,255	172,831,255	0.7
雑損失	—	1,034,271	1,020,896,368	—	1,021,930,639	4.0
特別損失	—	—	2,379,052	—	2,379,052	0.0
過年度損失	—	—	2,379,052	—	2,379,052	0.0
合計	11,911,791,846	10,591,204,440	1,293,519,776	2,026,690,853	25,823,206,915	100.0
構成比(%)	46.1	41.0	5.0	7.8	100.0	

(注) 1 経費内訳 人件費……給与費(給料、手当、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引
物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用
その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金、支払利息、雑損失(消費税関係雑損失
留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除く)、長期

2 *印の科目は市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去され、純計となっている。

両年度比較表（総 合）

令和2年度						前年度 対 比 (%)
人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合 計 (円)	構成比 (%)	
11,690,543,470	9,937,428,357	56,957,763	2,041,398,041	23,726,327,631	94.1	102.7
11,690,469,470	—	—	—	11,690,469,470	46.4	101.9
—	6,748,673,859	—	—	6,748,673,859	26.8	106.6
74,000	3,141,937,011	56,957,763	—	3,198,968,774	12.7	104.9
—	—	—	2,039,878,086	2,039,878,086	8.1	90.5
—	2,808,862	—	1,519,955	4,328,817	0.0	222.6
—	44,008,625	—	—	44,008,625	0.2	106.4
—	62,544,299	1,244,999,246	172,760,389	1,480,303,934	5.9	98.6
—	—	216,983,278	—	216,983,278	0.9	95.0
—	321,590	—	—	321,590	0.0	128.5
—	60,742,309	9,770	—	60,752,079	0.2	96.8
—	—	—	172,760,389	172,760,389	0.7	100.0
—	1,480,400	1,028,006,198	—	1,029,486,598	4.1	99.3
—	—	715,351	—	715,351	0.0	332.6
—	—	715,351	—	715,351	0.0	332.6
11,690,543,470	9,999,972,656	1,302,672,360	2,214,158,430	25,207,346,916	100.0	102.4
46.4	39.7	5.2	8.8	100.0		

当金繰入額)、報酬

及び医療事故に対する和解金)、過年度損失、貸倒引当金繰入額
前払消費税償却、固定資産売却損

収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	令和3年度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比(%)
医業費用	10,411,687,863	9,855,170,132	56,704,669	1,733,199,020	22,056,761,684	94.1
給与費	10,411,591,663	—	—	—	10,411,591,663	44.4
材料費	—	6,920,309,330	—	—	6,920,309,330	29.5
経費	96,200	2,890,363,236	56,704,669	—	2,947,164,105	12.6
減価償却費	—	—	—	1,725,547,046	1,725,547,046	7.4
資産減耗費	—	1,237,777	—	7,651,974	8,889,751	0.0
研究研修費	—	43,259,789	—	—	43,259,789	0.2
医業外費用	—	60,230,408	1,151,884,493	165,554,806	1,377,669,707	5.9
支払利息	—	—	196,070,843	—	196,070,843	0.8
患者外給食費	—	413,340	—	—	413,340	0.0
保育費	—	58,782,797	9,770	—	58,792,567	0.3
長期前払消費税償却	—	—	—	165,554,806	165,554,806	0.7
雑損失	—	1,034,271	955,803,880	—	956,838,151	4.1
特別損失	—	—	1,186,589	—	1,186,589	0.0
過年度損失	—	—	1,186,589	—	1,186,589	0.0
合計	10,411,687,863	9,915,400,540	1,209,775,751	1,898,753,826	23,435,617,980	100.0
構成比(%)	44.4	42.3	5.2	8.1	100.0	

(注) 経費内訳
 人件費……給与費(給料、手当、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引
 物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用
 その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金、支払利息、雑損失(消費税関係雑損失
 留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除く)、長期

両年度比較表（市民病院）

令和2年度						前年度 対 比 (%)
人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)	
10,202,354,251	9,217,663,182	49,952,703	1,919,870,798	21,389,840,934	93.9	103.1
10,202,280,251	—	—	—	10,202,280,251	44.8	102.1
—	6,434,612,067	—	—	6,434,612,067	28.2	107.5
74,000	2,739,001,844	49,952,703	—	2,789,028,547	12.2	105.7
—	—	—	1,919,344,107	1,919,344,107	8.4	89.9
—	2,359,627	—	526,691	2,886,318	0.0	308.0
—	41,689,644	—	—	41,689,644	0.2	103.8
—	62,415,799	1,163,478,640	165,422,346	1,391,316,785	6.1	99.0
—	—	205,885,469	—	205,885,469	0.9	95.2
—	321,590	—	—	321,590	0.0	128.5
—	60,742,309	9,770	—	60,752,079	0.3	96.8
—	—	—	165,422,346	165,422,346	0.7	100.1
—	1,351,900	957,583,401	—	958,935,301	4.2	99.8
—	—	327,515	—	327,515	0.0	362.3
—	—	327,515	—	327,515	0.0	362.3
10,202,354,251	9,280,078,981	1,213,758,858	2,085,293,144	22,781,485,234	100.0	102.9
44.8	40.7	5.3	9.2	100.0		

当金繰入額）、報酬

及び医療事故に対する和解金）、過年度損失、貸倒引当金繰入額
前払消費税償却、固定資産売却損

収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	令和3年度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比(%)
医業費用	1,500,103,983	676,087,009	7,358,200	120,660,578	2,304,209,770	96.5
給与費	1,500,103,983	—	—	—	1,500,103,983	62.8
材料費	—	271,804,483	—	—	271,804,483	11.4
経費	—	400,522,538	7,358,200	—	407,880,738	17.1
減価償却費	—	—	—	120,111,578	120,111,578	5.0
資産減耗費	—	195,598	—	549,000	744,598	0.0
研究研修費	—	3,564,390	—	—	3,564,390	0.1
医業外費用	—	—	75,193,362	7,276,449	82,469,811	3.5
支払利息	—	—	10,100,874	—	10,100,874	0.4
長期前払消費税償却	—	—	—	7,276,449	7,276,449	0.3
雑損失	—	—	65,092,488	—	65,092,488	2.7
特別損失	—	—	1,192,463	—	1,192,463	0.0
過年度損失	—	—	1,192,463	—	1,192,463	0.0
合計	1,500,103,983	676,087,009	83,744,025	127,937,027	2,387,872,044	100.0
構成比(%)	62.8	28.3	3.5	5.4	100.0	

(注) 経費内訳 人件費……給与費(給料、手当、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引
物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用
その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金、支払利息、雑損失(消費税関係雑損失)、
留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除く)、長期

両年度比較表（木曽川市民病院）

令和2年度						前年度 対 比 (%)
人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合 計 (円)	構成比 (%)	
1,488,189,219	720,002,796	7,005,060	121,527,243	2,336,724,318	96.3	98.6
1,488,189,219	—	—	—	1,488,189,219	61.3	100.8
—	314,061,792	—	—	314,061,792	12.9	86.5
—	403,172,788	7,005,060	—	410,177,848	16.9	99.4
—	—	—	120,533,979	120,533,979	5.0	99.6
—	449,235	—	993,264	1,442,499	0.1	51.6
—	2,318,981	—	—	2,318,981	0.1	153.7
—	128,500	81,520,606	7,338,043	88,987,149	3.7	92.7
—	—	11,097,809	—	11,097,809	0.5	91.0
—	—	—	7,338,043	7,338,043	0.3	99.2
—	128,500	70,422,797	—	70,551,297	2.9	92.3
—	—	387,836	—	387,836	0.0	307.5
—	—	387,836	—	387,836	0.0	307.5
1,488,189,219	720,131,296	88,913,502	128,865,286	2,426,099,303	100.0	98.4
61.3	29.7	3.7	5.3	100.0		

当金繰入額)

過年度損失、貸倒引当金繰入額

前払消費税償却、固定資産売却損

比 較 貸 借 対 照 表

借 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
固 定 資 産	21,622,939,951	67.4	22,901,516,114	72.5	94.4
土 地	1,295,606,294	4.0	1,295,606,294	4.1	100.0
建 物	11,372,168,284	35.4	11,331,380,212	35.9	100.4
建物付属設備	4,713,859,454	14.7	4,792,130,403	15.2	98.4
構 築 物	290,617,169	0.9	294,748,631	0.9	98.6
器械及び備品	2,436,142,893	7.6	2,715,025,007	8.6	89.7
車 両 運 搬 具	21,848,404	0.1	6,657,874	0.0	328.2
リ ー ス 資 産	1,048,115,767	3.3	1,253,680,558	4.0	83.6
その他有形固定資産	30,043,874	0.1	29,593,874	0.1	101.5
建 設 仮 勘 定	0	0.0	656,439,133	2.1	0.0
電 話 加 入 権	2,219,027	0.0	2,219,027	0.0	100.0
出 資 金	620,000	0.0	620,000	0.0	100.0
敷 金	11,186,000	0.0	11,186,000	0.0	100.0
長期前払消費税	400,512,785	1.2	512,229,101	1.6	78.2
流 動 資 産	10,459,538,429	32.6	8,674,697,435	27.5	120.6
現 金 預 金	5,924,576,027	18.5	3,881,848,413	12.3	152.6
未 収 金 *	4,428,310,899	13.8	4,704,089,786	14.9	94.1
貸 倒 引 当 金	△ 30,005,826	△ 0.1	△ 34,360,291	△ 0.1	87.3
貯 蔵 品	135,881,382	0.4	122,544,637	0.4	110.9
前 払 費 用	775,947	0.0	574,890	0.0	135.0
資 産 合 計	32,082,478,380	100.0	31,576,213,549	100.0	101.6

(注) *印の科目は市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取引が相殺消去され、純計と

(総 合)

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	令 和 3 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	令 和 2 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	
固 定 負 債	17,407,737,544	54.3	18,124,341,992	57.4	96.0
企 業 債	11,791,587,392	36.8	12,340,930,086	39.1	95.5
リ ー ス 債 務	539,159,355	1.7	763,565,066	2.4	70.6
退職給付引当金	5,076,990,797	15.8	5,019,846,840	15.9	101.1
流 動 負 債	3,509,794,995	10.9	3,583,815,567	11.3	97.9
企 業 債	549,342,694	1.7	539,029,891	1.7	101.9
リ ー ス 債 務	366,906,455	1.1	374,688,052	1.2	97.9
未 払 金 *	1,829,093,789	5.7	1,835,937,705	5.8	99.6
預 り 金	108,387,888	0.3	93,148,655	0.3	116.4
賞 与 引 当 金	554,958,000	1.7	625,344,892	2.0	88.7
法定福利費引当金	101,106,169	0.3	115,666,372	0.4	87.4
繰 延 収 益	855,096,590	2.7	856,602,701	2.7	99.8
長 期 前 受 金	3,331,946,322	10.4	2,993,022,968	9.5	111.3
収益化累計額	△ 2,476,849,732	△ 7.7	△ 2,136,420,267	△ 6.8	115.9
資 本 金	19,188,348,623	59.8	19,188,348,623	60.8	100.0
自 己 資 本 金	19,188,348,623	59.8	19,188,348,623	60.8	100.0
剰 余 金	△ 8,878,499,372	△ 27.7	△ 10,176,895,334	△ 32.2	87.2
資 本 剰 余 金	39,083,874	0.1	38,633,874	0.1	101.2
利 益 剰 余 金	△ 8,917,583,246	△ 27.8	△ 10,215,529,208	△ 32.4	87.3
(当年度純利益・△純損失)	(1,297,945,962)		(△ 265,022,696)		
負債・資本合計	32,082,478,380	100.0	31,576,213,549	100.0	101.6

なっている。

比 較 貸 借 対 照 表

借 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
固 定 資 産	20,467,736,864	71.0	21,645,897,054	76.4	94.6
土 地	1,282,261,344	4.4	1,282,261,344	4.5	100.0
建 物	10,688,826,949	37.1	10,607,330,262	37.4	100.8
建物付属設備	4,544,691,035	15.8	4,601,737,020	16.2	98.8
構 築 物	271,347,539	0.9	273,877,186	1.0	99.1
器械及び備品	2,270,098,467	7.9	2,537,923,923	9.0	89.4
車 両 運 搬 具	20,506,626	0.1	5,097,233	0.0	402.3
リ ー ス 資 産	962,041,580	3.3	1,146,870,448	4.0	83.9
その他有形固定資産	30,043,874	0.1	29,593,874	0.1	101.5
建 設 仮 勘 定	0	0.0	656,439,133	2.3	0.0
電 話 加 入 権	1,906,200	0.0	1,906,200	0.0	100.0
出 資 金	620,000	0.0	620,000	0.0	100.0
敷 金	11,186,000	0.0	11,186,000	0.0	100.0
長期前払消費税	384,207,250	1.3	491,054,431	1.7	78.2
流 動 資 産	8,347,416,201	29.0	6,690,310,443	23.6	124.8
現 金 預 金	4,255,976,769	14.8	2,281,350,661	8.1	186.6
未 収 金	3,989,187,257	13.8	4,327,470,545	15.3	92.2
貸 倒 引 当 金	△ 29,302,369	△ 0.1	△ 33,396,357	△ 0.1	87.7
貯 蔵 品	130,788,587	0.5	114,311,694	0.4	114.4
前 払 費 用	765,957	0.0	573,900	0.0	133.5
資 産 合 計	28,815,153,065	100.0	28,336,207,497	100.0	101.7

(市 民 病 院)

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	令 和 3 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	令 和 2 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	
固 定 負 債	16,196,476,083	56.2	16,811,920,410	59.3	96.3
企 業 債	11,351,070,267	39.4	11,842,349,011	41.8	95.9
リ ー ス 債 務	505,916,443	1.8	709,471,049	2.5	71.3
退職給付引当金	4,339,489,373	15.1	4,260,100,350	15.0	101.9
流 動 負 債	3,113,724,345	10.8	3,199,456,997	11.3	97.3
企 業 債	491,278,744	1.7	481,969,052	1.7	101.9
リ ー ス 債 務	346,055,350	1.2	343,184,104	1.2	100.8
未 払 金	1,620,215,988	5.6	1,646,936,919	5.8	98.4
預 り 金	86,127,111	0.3	82,976,842	0.3	103.8
賞 与 引 当 金	482,272,465	1.7	543,777,246	1.9	88.7
法定福利費引当金	87,774,687	0.3	100,612,834	0.4	87.2
繰 延 収 益	666,368,599	2.3	680,358,077	2.4	97.9
長 期 前 受 金	2,952,211,924	10.2	2,652,798,689	9.4	111.3
収益化累計額	△ 2,285,843,325	△ 7.9	△ 1,972,440,612	△ 7.0	115.9
資 本 金	15,401,729,823	53.5	15,401,729,823	54.4	100.0
自 己 資 本 金	15,401,729,823	53.5	15,401,729,823	54.4	100.0
剰 余 金	△ 6,563,145,785	△ 22.8	△ 7,757,257,810	△ 27.4	84.6
資 本 剰 余 金	30,043,874	0.1	29,593,874	0.1	101.5
利 益 剰 余 金	△ 6,593,189,659	△ 22.9	△ 7,786,851,684	△ 27.5	84.7
(当年度純利益・△純損失)	(1,193,662,025)		(△ 107,539,400)		
負債・資本合計	28,815,153,065	100.0	28,336,207,497	100.0	101.7

比 較 貸 借 対 照 表

借 方					
科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
固 定 資 産	1,155,203,087	35.3	1,255,619,060	38.7	92.0
土 地	13,344,950	0.4	13,344,950	0.4	100.0
建 物	683,341,335	20.9	724,049,950	22.3	94.4
建物付属設備	169,168,419	5.2	190,393,383	5.9	88.9
構 築 物	19,269,630	0.6	20,871,445	0.6	92.3
器械及び備品	166,044,426	5.1	177,101,084	5.5	93.8
車 両 運 搬 具	1,341,778	0.0	1,560,641	0.0	86.0
リ ー ス 資 産	86,074,187	2.6	106,810,110	3.3	80.6
電 話 加 入 権	312,827	0.0	312,827	0.0	100.0
長期前払消費税	16,305,535	0.5	21,174,670	0.7	77.0
流 動 資 産	2,115,545,184	64.7	1,988,402,697	61.3	106.4
現 金 預 金	1,668,599,258	51.0	1,600,497,752	49.3	104.3
未 収 金	442,546,598	13.5	380,634,946	11.7	116.3
貸 倒 引 当 金	△ 703,457	0.0	△ 963,934	0.0	73.0
貯 蔵 品	5,092,795	0.2	8,232,943	0.3	61.9
前 払 費 用	9,990	0.0	990	0.0	1,009.1
資 産 合 計	3,270,748,271	100.0	3,244,021,757	100.0	100.8

（ 木 曾 川 市 民 病 院 ）

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	令 和 3 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	令 和 2 年 度 金 額 (円)	構成比 (%)	
固 定 負 債	1,211,261,461	37.0	1,312,421,582	40.5	92.3
企 業 債	440,517,125	13.5	498,581,075	15.4	88.4
リ ー ス 債 務	33,242,912	1.0	54,094,017	1.7	61.5
退職給付引当金	737,501,424	22.5	759,746,490	23.4	97.1
流 動 負 債	399,493,606	12.2	388,374,275	12.0	102.9
企 業 債	58,063,950	1.8	57,060,839	1.8	101.8
リ ー ス 債 務	20,851,105	0.6	31,503,948	1.0	66.2
未 払 金	212,300,757	6.5	193,016,491	5.9	110.0
預 り 金	22,260,777	0.7	10,171,813	0.3	218.8
賞 与 引 当 金	72,685,535	2.2	81,567,646	2.5	89.1
法定福利費引当金	13,331,482	0.4	15,053,538	0.5	88.6
繰 延 収 益	188,727,991	5.8	176,244,624	5.4	107.1
長 期 前 受 金	379,734,398	11.6	340,224,279	10.5	111.6
収益化累計額	△ 191,006,407	△ 5.8	△ 163,979,655	△ 5.1	116.5
資 本 金	3,786,618,800	115.8	3,786,618,800	116.7	100.0
自 己 資 本 金	3,786,618,800	115.8	3,786,618,800	116.7	100.0
剰 余 金	△ 2,315,353,587	△ 70.8	△ 2,419,637,524	△ 74.6	95.7
資 本 剰 余 金	9,040,000	0.3	9,040,000	0.3	100.0
利 益 剰 余 金	△ 2,324,393,587	△ 71.1	△ 2,428,677,524	△ 74.9	95.7
(当年度純利益・△純損失)	(104,283,937)		(△ 157,483,296)		
負債・資本合計	3,270,748,271	100.0	3,244,021,757	100.0	100.8

比 較 財 務 分 析 表

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 ・ △ 減
財 務 分 析	稼働病床利用率 (%)	76.2	74.7	1.5
	自己資本構成比率 (%) *	34.8	31.3	3.5
	固定資産対長期資本比率 (%)	75.7	81.8	△ 6.1
	流動比率 (%) *	298.0	242.1	55.9
	総収益対総費用比率 (%) *	105.0	98.9	6.1
	医業収益対医業費用比率 (%) *	94.2	89.5	4.7
	企業債元金償還金対減価償却額比率 (%)	35.7	30.5	5.2
	医業収益に対する比率			
	企業債元金償還金 (%) *	2.3	2.5	△ 0.2
	企業債利息 (%) *	0.9	1.0	△ 0.1
	企業債元利償還金 (%) *	3.2	3.5	△ 0.3
	職員給与費 (%) *	51.9	55.0	△ 3.1

(注) *印の付された項目の算出に当たっては、市民病院と木曽川市民病院との間で行われた内部取

(総 合)

算 式	説 明
$\frac{\text{年 延 入 院 患 者 数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$	
$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負 債 ・ 資 本 合 計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は高いといえる。
$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産の調達に資本と長期的な負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病 院 事 業 収 益}}{\text{病 院 事 業 費 用}} \times 100$	
$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 元 利 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	

引が相殺消去された数値を用いた。

比較財務分析表

区 分		令和3年度	令和2年度	増・△減
財 務 分 析	稼働病床利用率 (%)	74.8	73.3	1.5
	稼働一般病床利用率 (%)	75.7	73.9	1.8
	稼働結核・感染症病床利用率 (%)	53.2	60.4	△ 7.2
	自己資本構成比率 (%)	33.0	29.4	3.6
	固定資産対長期資本比率 (%)	79.6	86.1	△ 6.5
	流動比率 (%)	268.1	209.1	59.0
	総収益対総費用比率 (%)	105.1	99.5	5.6
	医業収益対医業費用比率 (%)	94.9	90.1	4.8
	企業債元金償還金対減価償却額比率 (%)	34.0	28.9	5.1
	医業収益に対する比率			
	企業債元金償還金 (%)	2.3	2.5	△ 0.2
	企業債利息 (%)	0.9	1.1	△ 0.2
	企業債元利償還金 (%)	3.2	3.5	△ 0.3
	職員給与費 (%)	49.7	53.0	△ 3.3

(市 民 病 院)

算 式	説 明
$\frac{\text{年 延 入 院 患 者 数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$ <p>(稼 働 病 床 数)</p>	
$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負 債 ・ 資 本 合 計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は高いといえる。
$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産の調達が資本と長期的な負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病 院 事 業 収 益}}{\text{病 院 事 業 費 用}} \times 100$	
$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 元 利 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	

比較財務分析表

区 分		令和3年度	令和2年度	増・△減
財 務 分 析	稼働病床利用率 (%)	82.9	80.4	2.5
	稼働一般病床利用率 (%)	76.5	72.8	3.7
	稼働療養病床利用率 (%)	93.8	94.1	△ 0.3
	自己資本構成比率 (%)	50.8	47.6	3.2
	固定資産対長期資本比率 (%)	40.2	44.0	△ 3.8
	流動比率 (%)	529.6	512.0	17.6
	総収益対総費用比率 (%)	104.4	93.5	10.9
	医業収益対医業費用比率 (%)	87.3	84.7	2.6
	企業債元金償還金対減価償却額比率 (%)	61.3	58.0	3.3
	医業収益に対する比率			
	企業債元金償還金 (%)	2.8	2.8	0.0
	企業債利息 (%)	0.5	0.6	△ 0.1
	企業債元利償還金 (%)	3.3	3.4	△ 0.1
	職員給与費 (%)	74.6	75.2	△ 0.6

(木 曽 川 市 民 病 院)

算 式	説 明
$\frac{\text{年 延 入 院 患 者 数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$ <p>(稼 働 病 床 数)</p>	
$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負 債 ・ 資 本 合 計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は高いといえる。
$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産の調達が資本と長期的な負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病 院 事 業 収 益}}{\text{病 院 事 業 費 用}} \times 100$	
$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企 業 債 元 金 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{企 業 債 元 利 償 還 金}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	
$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	